

官報 號外

明治二十九年三月二十七日

金曜日 內閣官報局

第九回 貴族院議事速記録第四十二號

明治二十九年三月二十六日(木曜日)午前十時四十七分開議

議事日程 第四十三號 明治二十九年三月二十六日

午前十時開議

- 第一 輸入棉花海關稅免除法律案(政府提出)
第二 東京府下郡廢置法律案(政府提出)
第三 香川縣下郡廢置法律案(政府提出)
第四 臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案(政府提出)
第五 明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加案(政府提出)
第六 明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加案(政府提出)
第七 明治二十九年年度特別會計歲入歲出豫算追加案(政府提出)
第八 明治二十九年年度歲入歲出總豫算追加案(政府提出)
第九 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(政府提出)
第十 清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法案(衆議院提出)
第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉(衆議院提出)
第十二 北海道鐵道敷設法案(本院提出)
第十三 國勢調査ニ關スル建議案(船越衛君外一名發議)
第十四 農商工會設置ニ關スル建議案(前田正名君發議)
第十五 神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案(丸山作樂君外一名發議)
第十六 國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案(子爵平松時厚君外一名發議)
第十七 復祿及復族祿ノ請願
第十八 筑後川改修工事ノ請願
第十九 蠶種檢查法實施ノ請願

- 第二十 假屋灣ヲ貿易港ト爲スノ請願
第二十一 電信線架設ノ請願
第二十二 明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ請願
第二十三 停車場設置ノ請願
第二十四 遠賀川河身改修ノ請願
第二十五 朝鮮貿易港開設ノ請願

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨二十五日本院ニ於テ可決ニ爲リマシタル、政府提出、愛媛縣下郡廢置法律案、葉烟草專賣資金會計法案、移民保護法案、豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(甲、乙、丙、丁、戊、己)、農工銀行補助法案、明治二十八年年度歲入歲出總豫算追加案(辛)明治二十八年年度特別會計歲入歲出總豫算追加案(丙)明治二十九年年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(甲)(乙)(丙)(戊)(庚)(壬)、明治二十九年年度特別會計歲入歲出豫算追加案(甲)、衆議院提出輸入羊毛海關稅免除法律案是ダケハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奉請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ヘ通知致シマシテゴザイマス、同日本院ニ於テ修正議決ニ爲リマシタル政府提出、岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案、河川法案、日本勸業銀行法案、農工銀行法案ハ即日衆議院ヘ廻付致シマシテゴザイマス、同日衆議院提出、鐵道敷設法中改正法律案、集會及政社法中刪除法律案ハ本院ニ於テ否決シタル旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日政府ヨリ臺灣ニ會計檢査院支廳ヲ設置スルノ法律案ヲ提出ニナリマシテゴザイマス、同日衆議院提出ノ府縣制改正法律案、家祿賞典祿處分法案、明治二十七年法律第二十號中改正法律案、消防組法案、山形縣下郡界變更法律案、裁判所管轄ニ關スル法律案、保安條例廢止法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ本院提出、北海道鐵道敷設法案ヲ廻付シ來リマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ政府提出、地方學事通則中改正法案ヲ可決奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、政府提出、河川法案ハ衆議院ニ於テ可決シ同院ヨリ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザイマス、政府提出、臺灣ニ會計檢査院支廳ヲ設置スルノ法律案ニ關シテ政府ヨリ通牒ヲ受領致シマシタニ依リテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

臺灣ニ會計檢査院支廳ヲ設置スルノ法律案
右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段要求ニ及候也

明治二十九年三月二十五日 內閣總理大臣臨時代理 樞密院議長伯耆黑田清隆 貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵須賀茂昭君) 昨日本席へ御委託ニナリマシタル社寺上地林保
管法案特別委員ヲ選定ニ及ビマシタルニ依ツテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

社寺上地林保管法案特別委員

- 子爵會我 祐準君 子爵松平 乘承君 男爵神山 郡廉君
- 柴原 和君 松本 鼎君 富田 鐵之助君
- 武井 守正君 平田 東助君 山田 卓介君

○議長(侯爵須賀茂昭君) 唯今書記官長ヲシテ朗讀致サセマシタル如ク内
閣總理大臣ヨリ此臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設置スルノ法律案ハ委員ニモ付セ
ス議會モ省略シテ議スルヤウニ致シタリト云フ要求ニナリテ居リマスルノ
此案ヲ議事日程ヲ變更致シテ第一ニ議スルコトニ致シタリト存ジマスガ如何
デゴザイマス

○子爵會我祐準君 本員ハ今日ノ議事ニ入ル以前ニ議長ニ御尋致シタイ事ガ
アリマス、ソレハ他事デアリマセヌガ、蓋シ本年ノ議事トシテハ今日ガ最
後ノ議事デアラウト考ヘマス、然ルニ今日ノ議事日程ヲ拜見シマスルニ明治
二十六年總決算ノ議事ト云フモノガ載セテゴザイマス、抑、決算ト申ス
モノハ決算議定細則ト云フモノニ據ツテ我々ハ議セネバナラス、然ルニ第十
條ニ「決算委員ノ報告アリタルトキハ議長ハ之ヲ印刷シテ各議員ニ之ヲ配付
シ其議事ヲ開クヘシ」ト云フ箇條ガ第十條ニ規定サレテ居ル、初メニ決算委員
長ガ報告ヲシ必ズ議長ガ之ヲ印刷シテ各議員ニ御配布ニナラヌマデニ今日運
デ居ル、然ルニ其一番ノ議事ヲ……其會議ヲ開クベシト云フコトハ詰リ
今日マデニ開カレレドアル、既ニ此報告ハ過ル十五日ヲ以テ報告サレテ居
ルニ依ツテ十幾日ト云フ時間ガアル是ハ何故今日マデ議事日程ニ御載セニナ
リマセヌカ、議事日程ニ御載セガナイ故ニ我々ハ議スルコトヲ得ズ若シ議
ズニ終ツタラバ又來年議事ナケレバナラスト云フ事ニナルカモ知レヌ、斯
クナレバ本年ハ決算委員諸君ハ無駄骨ヲ折ツタト云フ譯ニナル且ツ申スマデ
モナク此會計ノ事ト云フモノハ豫算ヲ始トシテ決算ヲ終トシ首尾相應シテ會
計ノ整理ガ立ツト云フモノデアアル、我々ハ之ヲ議定スル義務ヲ有ツテ居ル者
ト思フノニ何故ニ之ヲ今日マデモ御載セニナラナイカト云フコトヲ議長ニ御
尋フ致シマス、若シ議長ノ御答ノ工合ニ依リマシテ更ニ動議ヲ提出致シマス
積デアリマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 會我子爵ノ唯今御述ニナル事ハ一應御尤ト實ハ
考ヘラレマス、併シ會我子爵ハドウ云フ御考デアアルカ成程報告ヲ議題トナス
ベシト云フコトモ決算議定細則ニアリマス、アリマスガソレハ決議案トカ上
奏案トカ一ノ議案ヲ具ヘテ出テ來タラバ議事ニ載セルト云フコトガ出來マ
スガ其報告デアハマルデ議題トスルト云フ所ノ案ガ無イト存ジマスルカラ、ソ
コハドウ云フ御見解デアリマスカ會我子爵ノ御考ヲ一應承リタイノデアリマ
ス
○子爵會我祐準君 本員ニモ見解ガゴザイマス、上奏スルコトモ決議スルコ
トモナイト云フハ委員即チ決算委員諸君ノ考デアアル若モ他ノ議員ニシテ上奏
スベク大ニ決議スベキ案ガ有ツタラバソレハ如何ナル動議デモ發シマスデ
ゴザイマス……

○議長(侯爵須賀茂昭君) ソレハ即チ上奏案ナリ決議案ナリハ其議員ヨリ
御出シニナレバ其節之ヲ議事日程ニ載セル積デアリマス、其案ノ出ヌ限リハ
報告ダケデアハ議事トスルモノデアナイヤウニ考ヘマス

○子爵會我祐準君 本員ハ左様ニ考ヘマセヌ、ソレハ此議院ヲ通過シテ何ニ
モ議論ガナカッタラバソレハ則チ承諾認可シタト云フモノデアアル、ソレガ
議事ニ上ボラヌ限ハ何年經テモ承諾認可ト云フモノデアアル、ドウシテモ決算議
定細則第十條ニ示シテアル如ク一度議事ニ載セナケレバナラス議事ニ上ボ
テ議論ガナカッタラバ政府ノ仕事ト同ジ目的ニナル即チ是ガ穩當ナリト云
フコトニナルノデアアル、左様ニ本員ハ解釋致シマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 唯今承諾トカ認可トカ云フコトノ御演說ハ少シ
違フデアラウト思フ、サウ云フ事ハ何ニモ原案ガ無ケレバ決算ニ就イテ御異
議ノアル節ニハ議員ハ其院ニ對シテ議案ヲ具ヘテ御持出ニナルト斯ウ云フ
デアアツテ全體ノ決算ト云フモノヲ承諾スルカ認可スルカ云フコトハ決シ
テ別段ニ何ニモ無イコト、思フノデアリマス、併ナガラ是ハ疑義デゴザイマ
スニ依ツテ決シテ私ガ一己テ取決メタルト云フ譯ニハ參ルマイト思フ、依ツテ
レハ衆ニ御諮リヨシマス何トカ其通ノ御發議ガ出ル以上ハ御諮リヨシマス、
併ナガラ唯今ノ其報告ト云フコトダケデア問題ニスルト云フコトハドウモ實ニ
其手續ニ困却スルノデアリマス、報告ノ件ト云フモノヲ日程ニ載セタコトハ
昨年モナイノデアリマス決算案トカ上奏案トカ云フモノヲ日程ニ載セテ報告
ヲ載セルト云フ會議ト云フモノハ誠ニ載セヤウガナイト思フ、報告ヲ載セル
ト云フナラバ請願委員長ノ報告ノ如ク議場ニ於テ報告致スト云フコトハソ
レガ必要ナラバ致シマセウガ、併シソレハモウ印刷シテ御配付ヨシタ通デ、書
イタモノデア報告シテアリマスカラソレヲ議場ニ再ビ報告サセルト云フコトハ
ナイト本席デア認メタノデス、ソレダケノ事ハ御承知ヲ請ヒマス

○子爵會我祐準君 第十條ニ明ニ書イテアルノデアリマス、「決算委員長ノ報
告アリタルトキハ議長ハ之ヲ印刷シテ各議員ニ配布シ」トアリマス、サウシ
テ「其會議ヲ開クヘシ」ト此ノ如ク明瞭ニ書イテアル、却テ此十條ハ報告ヲ會
議ニ付スルト云フ事ニシカ讀メヌノデアアル、上奏案決議案ヲ作ルト云フコト
ハ十條ニハ見エテ居ラヌ、平ツタク十條デアハ報告ヲ議セタル、其報告ヲ至
當ト見レバソレデア宜シイガ、若シ甚ダ不適當ト云フ議論ガ起ツテ或ハ上奏ト
爲リ決議ト爲ルノデアアル、ソレデア一向差支ハナイト思フ

○議長(侯爵須賀茂昭君) 一應御答シテ置カンナラヌガソレハ「決算委員
長ノ報告アリタル」ト云フコトハ前ノ九條ノ報告ト云フ字ヲ受ケテ居ルト本
席デア見ルノデアアル、九條ニハ「其ノ決議案又ハ上奏案ヲ具ヘテ議長ニ報告
スヘシ」トアル、其案ヲ具ヘテ議長ニ報告シタ、其報告ト云フモノヲ指シテ
居ルモノト本席デア見ルノデアアル、併シ其處ハ甚ダ文ガ明テナイ、ドウチラニ
デモ解釋ガ出來ルヤウデアアルガ、唯報告ノミアツテ上奏案モ決議案モ出テ居
ラヌノニ議題トスルト云フコトハ甚ダムツカシイト本席デア思フノデアリマ
ス、ソレデア九條ニ「決議案又ハ上奏案ヲ具ヘテ議長ニ報告スヘシ」トアル、此
報告ガアリタルトキハ會議ヲ開ク、斯ウ云フコトニ本席デア解釋シテ居ル
デス、併ナガラソレハ唯本席ダケノ解釋デアツテ滿場ニ御異議ガアレバ、推

シテ是ハ會議ニ付セナイト申ス譯デハナイノデア
 ○子爵曾我祐準君 サウスルト議長ノ御考デハドウナルノデス、此儘議長ハ報告ヲ御受取ニナツテ我、議員ハ二六年度ノ決算ニ就イテハ何トモシナイノデアアルカ、少數ノ僅ナル決算委員ト云フモノデハ善イトカ惡イトカ見タデアアラウガ、滿場即チ貴族院トシテハ何等ノ判定モ何等ノ事モシナイト云フコトデアアルカ、成程先例ガ無イト仰シタルガ先例ハ無イカ知リマセヌ、此前三ツノ例ガ有ルガ、ソレハ二ツ共決議トカ上奏トカ云フコトガ附イテ出タノデア、云フ事ニナツタデアアラウガ實ハ決算ト云フモノ、性質ハ何卒決議トカ上奏トカ云フコトノ附カナイヤウニアルノガ、是ガ會計ノ整理ノ能ク出來タノデアアツテ何ニモ議論スベキ事ガナイノデアアルカ是ガ一番宜イノデア、然ルニ決議案モ上奏案モ附イテ居ラヌトキハ唯報告ヲ配布シタダケテ御任舞ナサル御考デアアルカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 勿論サウデゴザイマス、報告ト云フモノガ出タ以上、別ニ決議案モ上奏案モ議員ノ中カラ出ナイト云フトキニハ其報告ニ對シテ御異議ハナイモノト思フテ居ルノデス

○山脇玄君 唯今曾我子爵カラ決算ノ事ニ就イテ議長ヘ御質疑ガゴザイマシタガ、唯今議長ハ其事ハ随分疑義ニ關スル事デアアルカラ議長一個デ御決シニナラズ衆議ニ御諮ヒニナルト云フヤウナ御言葉デアアリマシタニ依ツテ私ノ考ヘマスル所ヲ一應述べタウ存ジマス、デ曾我子爵ノ申サレルヤウニ此決算ト云フモノハ決算委員ト云フモノヲ此議院中ニ設ケラレマシテ審査ヲ致シマシタ以上ハ、假令其中ニ決議スベキ事ト云フモノガ正當ナ順序デアラウト私ハ考ヘマス、依ツテ決算委員長ノ御報告ニナリマシタ節ニ此議員中ニ或ハ質問ヲ致シ或ハ決議案ヲ具ヘテ滿場ノ議ニ付スルト云フヤウナ手續ガツレヨリ始マルノデアアラウカト思フ、免ニ角決算委員ヲ設ケテ審査スル以上ハ決算委員長カラシテ此議場ニ報告ニナルノガ正當ナ順序ト私ハ考ヘマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 山脇君ニ承リマスガ、サウスルト決算委員長ノ報告ダケデ、報告ノ件ヲ會議ニ付スルト云フノデアハナイノデスカ

○山脇玄君 決算委員長ガ決算審査ノ報告ヲ爲ス以上ハ即チソレガ一ノ會議事件ニ爲ルノデス

○箕作麟祥君 唯今議長カラ此事ハ疑ガアルカラ各議員ノ意見ヲ聽イテモ宜イト云フヤウナ御言葉デアアリマシタカラ私モ聊カ意見ヲ述べマスガ私モ曾我子爵ノ發議ガ當然デアアツテ、此決算議定細則ト云フモノ、第十條ハ即チ會議ヲ開クベシト云フ事デアリマスガ議長ノ御見解デハ第九條ノ決議案又ハ上奏案ヲ具ヘタ時ニノミ此十條ヲ適用スルト云フ御見解デアアルヤウニ承リマシタガ、私ノ見解ハ大ニ違ヒマスノデ、第八條ニ於テ「決算委員會ニ於テ其ノ決算ヲ至當ナリト決スルトキハ其ノ旨ヲ議長ニ報告スヘシ」トアリマス、ソレデ此度ノ即チ決算委員長ノ報告ノ如キハ至當ト決スル即チ八條ノ場合ト察セラレマス、八條ハ其通至當ト決シテ報告シタ方、ソレカラ九條ノ方ハドウモ至當ト思ハヌカラ決議案ナリト上奏案ナリト具ヘテ報告スルト云フ場合、ドチラモ報告デアアル、而シテ十條ハ若シ議長ノ御見解ノヤウデアレバ、前條ノ場合トカ若クハ九條ノ場合トカ云フコトガ無ケレバナラヌ管デアリマス、ソ

レデアリマスレバ決議案トカ上奏案トカ云フモノヲ具ヘタ場合ニ限ルト云フ議長ノ御見解ガ至當カ知リマセヌガ、唯「決算委員長ノ報告アリタルトキハ」ト云フノデアアリマスカラ八條ノヤウナ報告デアアラウガ九條ノヤウナ報告デアアラウガ報告ニ變リハナイ、善イト言ハウガ惡イト言ハウガ決算委員長ガ報告サヘスレバ「議長ハ之ヲ印刷シテ各議員ニ配付シ其ノ會議ヲ開クヘシ」ト云フコトガ明白ニ書イテアリマスカラ報告ヲ會議ニ付スルノハ前條ノ場合ニ限ルト云フコトハドウモ、チト不都合ナ御見解デハナイカト思ヒマス、唯私ノ一個ノ見解デアアリマスガ述べテ置キマス

○村田保君 本員モ同ジヤウナ考デアアリマスガ既ニ山脇君カラ申サレタ通是ハドウシテモ「決算委員長ガ議場ニ報告ヲシナイデハナラヌト思フ、ソレカラ其報告ヲ議題トスルコトハ十一條ニ明文ガ有ルデアアリマセヌカ、」決算ノ會議ニ於テハ決算委員長ノ報告ヲ議題トナスヘシ」ト斯ウアルソレデスカラシテ其報告ヲ議題トシテ宜シイト思フ、是ハドウアツテモ議長カラ此議場ヘ御出シニナラヌデハ折角決算委員長ガ審査ヲシテ報告シタモノヲ議長ガ握潰シテ仕舞フト云フ事ニナリマセウ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 配布シテゴザイマス、決シテ握潰スノデアゴザイマセヌ

○子爵曾我祐準君 御議論ガアルナラバ侯爵ノ席ニ御著キニナツテ仰シタルガ宜イ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議論デハゴザイマセヌ、唯御尋ニナルカラ議長ノ見解ハ斯ウデアアルト申スノデ、此上ハ勿論衆議ニ諮ツテ定メマス積デアリマス、即チ此報告ノ件ト云フモノ、會議ト云フモノヲ議事日程ニ載セルト云フコトニナルノデスナ、曾我子爵其他ノ御發議ノ通ニナレバサウ云フコトニナリマス

○子爵曾我祐準君 宜シウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 曾我子爵ノ發議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ動議ガ通りマシタ以上ハ議長ヨリ固ヨリ今日ノ議事日程上第何號トカ云フコトニ然ルベキ所ニ御現ハシニナルコト、推測致シマスガ、若シ御現ハシガナケレバ本員ハ第九ト第十トノ間ニ加ヘタイト云フ意見ヲ申シテ置キマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第九ト第十トノ間デスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第九ト第十トノ間デスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今諸君ニ御諮リ致シマシタル臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設置スルノ法律案、之ヲ議事日程ヲ變更シテ議スルコトハ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今諸君ニ御諮リ致シマシタル臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設置スルノ法律案、之ヲ議事日程ヲ變更シテ議スルコトハ御異議ハゴザイマセヌカ

然ラバ之ヲ問題ニ供シマス、是ハ政府ヨリ要求ガ參ッテ居ルノデアゴザイマス、提出文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設置スルノ法律案

右 勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス 明治二十九年三月二十五日

内閣總理大臣臨時代理 樞密院議長伯爵黑田清隆

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス)

第一條 臺灣地方所在官廳ノ歲入歳出及官有物ニ關スル計算ヲ検査スル爲メ會計検査院ニ一部ヲ増設シ之ヲ臺灣ニ置キ會計検査院臺灣支廳ト稱ス

第二條 會計検査院ニ部長一員検査官三員書記官一員検査官補五員及屬若干員ヲ増置シ臺灣支廳ノ職員ニ充ツ

第三條 部長ハ検査上必要ナリト認ムルトキハ所屬官吏ヲ派遣シテ實地検査ヲ爲スコトヲ得

第四條 此ノ法律ニ規定セサル事項ハ總會計検査院法ニ依ル

○公爵近衛篤磨君 此案ニ付キマシテハ政府委員若クハ國務大臣ノ説明ハナイノデスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待下サイ唯今……

○伯爵正親町實正君 是ヨリ衆議院議員選舉法改正法律案ノ特別委員會ヲ開キタウゴザイマスガ、退席致シマシテ宜シウゴザイマスガ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 定足數ニ差支ハゴザイマセス、御異議ナシト認メマスニ依ッテ宜シウゴザイマス……政府委員ノ方ヘ問合セマシテケレドモ唯今出席致ス様子ハナイノデゴザイマス

○公爵近衛篤磨君 政府カラ緊急ヲ要スルト云フ要求ガアリナガラ政府委員ガ自ラ出テ説明ヲセスト云フハ随分不親切千万ナルコトデアラウト思ヒマス、ソレナラ餘リ緊急デハアリマスマイカラ矢張議事日程ノ通唯今ノ議案ハ後トヘ廻スコトニ致シタイト思ヒマス

(贊成キキト述フル者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 近衛公爵ノ唯今ノ御説ハ至極御尤ト思ヒマスカラ然ラバ是ハ後刻ニ廻スコトニ致シマス

○公爵近衛篤磨君 此第一ノ議事日程ハ輸入棉花海關稅免除法律案デゴザイマスルガ、午後一時マデノ御約束デ豫算委員會ヲ開イテ居リマシタノガ、モウ決シテ居リマスカラ豫算委員會ノ結果ヲ報道致サウト思ヒマスガ、引續イテ豫算會ヲ開クヤウニ願ヒタイト思ヒマス、合セテ願ッテ置キマスノハ此第七ノ特別會計追加豫算並ニ第八ノ方ノ總豫算ノ方デゴザイマスガ、是ハ議事日程ノ前後シマセスト理窟ガ立タヌヤウニ思ヒマスカラ、是ハ前後スルヤウニ是モ序ニ滿場ニ御諮リテ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ又昨日ノ河川法案ニ附帶スル豫算案ガ有リマスガ、是モ引續イテ豫算會ヲ御開キニナルヤウニ願ヒマス、議事日程變更ノ動議ヲ提出シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今近衛公爵ノ議事日程變更ノコトハ別ニ御異議ハゴザイマスマイ

(異議ナシト述フル者多シ)

然ラバ議事日程變更ニ決シマス、明治二十九年 度歳入歳出總豫算追加案丑號、會議ヲ開キマス委員長報告

一寸近衛公爵ニ御待ヲ願ヒタウゴザイマス、是ハ矢張丑號バカリデナシニ特別會計歳入歳出總豫算追加案、丁號、同ク丙號、ソレト明治二十九年 度歳入歳出總豫算追加案癸號 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、總テ束ネテ豫算委員長ヨリ報告ニナルコトニ致シタ方ガ便利ト思ヒマス

(異議ナシト述フル者アリ)

別ニ御異議ハナイト思ヒマスカラ其事ニ致シマス、ソレトモウ一ツ河川法ニ關スル豫算即チ明治二十九年 度歳入歳出總豫算已號、是モ束ネテ報告ニナリマスヤウニ……

(公爵近衛篤磨君演壇ニ登ル)

○公爵近衛篤磨君 豫算委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、第一ガ明治二十九年 度歳入歳出總豫算追加案丑號、即チ丑ト云フ字ノ印シテゴザイマス、是ハ鐵道公債ノ即チ證書製造發行ノ費用デアリマス、之ニ附キマシテハ政府委員カラモ委シテ説明モアリマシテ別段ニ異議モナク原案ニ決シマシテゴザイマス、ソレカラ次ハ二十九年 度特別會計ノ追加豫算ノ丁號、是ハ過日兩院協議會ニナリマシタ鐵道ノ豫算ノ結果デアリマシテ、此中福島青森間ノ鐵道並ニ敦賀富山間ノ鐵道ト云フモノハ二十九年 度ノ豫算ノ中ニ要求ガシテアリマス、其兩院協議會ニナリマシタニ附キマシテ其結果トシテ不足ガ生シマシタ其不足額デアリマス、ソレカラ又其兩院協議會ノ結果ニナリマシタ、アノ案ノ結果トシテ八王子名古屋間條ノ井鹽尻間ノ鐵道ニ要スルト云フノデアリマス、是ハ勿論法律ノ結果デ已ムヲ得ナイモノデアリマスカラ可決ニ爲リマシタ、ソレカラ此二十九年 度歳入歳出總豫算追加案號、即チ「ミツノト」、ソレカラ二十九年 度特別會計豫算追加丙號、ソレト此豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルモノ、此三ツハ詰リ同ジモノデアリマシテ形式上體裁ガ變ッテ出テ居ルモノデアリマス、其必要ハ工科大学ノ採鑛冶金學ノ教授野呂某ト云フ人ガ拘留サレマシテ、其後缺員ヲ生ジテ居ル、ソレガタメニ此學科ニ附イテハ授業休暇ヲシテ居ルト云フ有様デアリカラ是非其補缺ヲセネバナラヌ所ガ日本人ニハ丁度此學科ヲ教授スベキ適當ノ人ガ無イカラ外國人ヲ備入レルト云フ斯ウ云フ話デアリマス、サウシテ此癸號ノ方ハ二十九年 度ノ總豫算ノ追加デアリマシテ、サウシテ此前年度繰入金カラシテ文部省ノ四款ノ諸學校圖書館ノ支出ト云フ方ニ繰入レルト云フ手續ノ案デアリマス、ソレカラ丙號ノ方ハ特別會計デアリマシテ即チ此帝國大學ノ此今ノ前年度繰入金カラ繰込シテ來タモノヲ即チ雇外國人ノ諸給ト云フノニ繰入レルト云フ即チ是ハ特別會計ノ豫算デアリ、詰リ是ハ同ジモノデアリマス、ソレカラ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件ハ即チ外國人ヲ三年間ノ雇期限ヲ雇入レルノデアリマス、ソレデ其契約ヲ結ブコトヲ得ルト云フ此説明ニアル通ノ次第デアリマスカラ、是モ矢張前二案ニ牽連シタ所ノモノデアリマス、是ハ實際已ムヲ得ナイ事柄デアリマスカラシテ原案ノ通ニ決シマシタ、ソレカラモウ一ツ明治二十九年 度歳入歳出總豫算追加、是ハ其河川法ノ結果ニ依リマシテ出マシタ豫算デアリマス、是ハ昨日本院ノ議事ガ濟ミマ

シテ衆議院ニ廻テ行キマシタ時分ニ既ニ此豫算委員會ニ於キマシテ可決ヲシテ居リマス、併ナガラ此河川法ノ成行ガ未ダ分リマセヌ内デアリマシタカラ、ソレデ本議事ニ上ツテ居ナカッタ、所ガ先刻議長ノ御報告ノ通衆議院ニ於テモ河川法案ハ貴族院ノ修正ニ同意ヲシタト云フ次第デアリマスルカラ即チ此豫算モ亦出シテモ差支ナイト云フコトニナリマシタ、ソレ故是モ併セテ御報道致シマス、是モ既ニ法律ノ結果デアリマシテ無論異議ナク委員會ニ於キマシテハ決シマシタ、是ダケヲ御報道致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ是ヨリ順序ニ問題ニ供シマス、明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加五號、是ハ全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス(以下)

歲入經常部

第四款 雜收入 金七百六拾七圓參拾六錢

第五項 官吏遺族扶助法納金 金七百六拾七圓參拾六錢

歲入臨時部

第六款 製鐵費補足金 金七千六百七拾參圓六拾錢

第二項 納付金 金七千六百七拾參圓六拾錢

第九款 前年度繰入金 金四千四百五拾圓七拾貳錢參厘

第一項 前年度繰入金 金四千四百五拾圓七拾貳錢參厘

歲入臨時部合計金壹萬貳千八百九拾壹圓六拾八錢參厘

歲入總計金壹萬貳千八百九拾壹圓六拾八錢參厘

歲出臨時部

大藏省所管

第三款 公債證書製造及發行費 金壹萬貳千八百九拾壹圓六拾八錢參厘

第一項 鐵道公債證書製造及發行費 金壹萬貳千八百九拾壹圓六拾八錢參厘

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ原案ニ決シマス、表題ノ豫算ト云フ所ヲ問題ニ供シマス

豫算

明治二十九年年度歳入歳出追加額ヲ各壹萬貳千八百九拾壹圓六拾八錢參厘ト定ム其款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ハ明治二十九年年度特別會計歳入歳出豫算追加案丙號、是モ全部問題ニ供シマス

文部省所管

帝國大學

第一款 帝國大學 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

第一項 政府支出金 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

歲出

經常部

第一款 帝國大學 金五千七百貳拾貳圓九拾貳錢七厘

第十二項 備外國人諸給 金五千七百貳拾貳圓九拾貳錢七厘

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ハナイト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ特別會計豫算ト云フ表題ヲ問題ニ供シマス

特別會計豫算

明治二十九年年度文部省所管帝國大學特別會計豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レ亦原案ニ決シマス、次ニ明治二十九年年度特別會計歳入歳出豫算追加案...

(公署近衛篤磨君議長々々ト呼フ)

唯今ノハ申損ネマシタ明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案癸號即チ「ミツノト」ト云フノヲ之ヲ全部問題ニ供シマス

歲入臨時部

第九款 前年度繰入金 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

第一項 前年度繰入金 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

歲出經常部

文部省所管

第四款 諸學校及圖書館支出金 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

第一項 帝國大學 金四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

然ラバ原案ニ決シマス、表題ノ豫算ト云フ所ヲ問題ニ供シマス

豫算

明治二十九年年度歳入歳出追加額ヲ各四千六百五拾六圓貳拾六錢壹厘ト定ム其款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ明治二十九年年度特別會計歳入歳出豫算追加案丁號全部ヲ問題ニ供シマス

大藏遞信兩省所管

鐵道公債金

歲入 大藏省所管

第一款 鐵道公債金 金貳百九拾八萬圓

第一項 鐵道公債募集金 金貳百九拾八萬圓

歲出 遞信省所管

第一款 鐵道建設費 金貳百九拾八萬圓

第一項 福島青森間鐵道 金參拾九萬八千貳百九拾貳圓

第二項 敦賀富山間鐵道 金貳拾八萬七千七百八圓

第三項 八王子名古屋間鐵道 金百四拾萬圓

第四項 篠ノ井鹽尻間鐵道 金九拾萬圓

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ御異議ハナイト認メマシテ原案ニ決シマス、特別會計豫算ト云フ表題ヲ問題ニ供シマス

明治二十九年年度大藏遞信兩省所管鐵道公債金ノ特別會計豫算追加額及其款

項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ
 ○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、豫算外國庫ノ負擔トナル
 ハキ契約ヲ爲スヲ要スル件全部ヲ問題ニ供シマス
 帝國大學ニ於テ工科大學採鑛冶金學ノ教授ヲ擔任スヘキ外國人教師一名ヲ
 備入明治二十九年八月一日ヨリ同三十二年七月三十一日マテノ期限ヲ以テ
 俸給月額銀貨五百圓ヲ支給シ家具ヲ備ヘサル家屋一字ヲ貸與シ政府ノ都合
 ニ依リ家屋ヲ貸付セサルトキハ宿料トシテ月額銀貨四拾圓ヲ支給シ滿期解
 備ノ際歸國旅費銀貨六百圓ヲ支給シ且俸給及旅費支給當時銀貨壹圓ニ付英
 貨參志以下ニ購費モシトキハ俸給ノ半額及旅費ノ全額ニ對シ其差額ヲ加給
 スルノ契約ヲ結フコトヲ得
 ○議長(侯爵峰須賀茂韶君) 是モ御異議ナイニ依ッテ原案ニ決シマス、明治
 二十九年年度歳入歳出總豫算追加案已號即チ河川ニ關スル豫算デゴザイマス、
 是ハ甲號乙號トナテ居リマス、總テ束ネテ問題ニ供シマス

甲號

歳入經常部

第四款 雜收入 金貳百壹圓六拾錢
 第五項 官吏遺族扶助法納金 金貳百壹圓六拾錢

歳入臨時部

第六款 製鐵費補足金 金貳千拾六圓
 第二項 納付金 金貳千拾六圓

第九款 前年度繰入金 金九拾九萬五千九拾五圓九拾八錢五厘
 第一項 前年度繰入金 金九拾九萬五千九拾五圓九拾八錢五厘

第十二款 地方分擔納付金 金參拾六萬千參百圓
 第一項 地方分擔納付金 金參拾六萬千參百圓

第一項 歳入臨時部合計金百參拾五萬八千四百拾壹圓九拾八錢五厘
 歳入總計金百參拾五萬八千六百拾參圓五拾八錢五厘

歳出臨時部

內務省所管

第四款 土木事業費 金百參拾五萬八千六百拾參圓五拾八錢五厘
 第一項 俸給及諸給 金貳萬百六拾圓
 第二項 廳費 金四千七百八拾七圓四拾九錢五厘
 第四項 旅費 金貳萬貳千七圓八拾四錢
 第五項 雜給及雜費 金九千七百七拾六圓貳拾五錢
 第六項 營繕費 金五百八拾貳圓
 第十二項 木曾川修築費 金拾五萬圓
 第二十四項 澱川改修費 金百萬千參百圓
 第二十五項 筑後川改修費 金拾五萬圓

乙號

第一

木曾川修築費

金參百拾貳萬八千百拾八圓五拾五錢壹厘
 金貳百九拾八萬七千圓

既定總額

工費追加額

金參百拾貳萬八千百拾八圓五拾五錢壹厘
 金貳百九拾八萬七千圓

合計金六百拾壹萬五千百拾八圓五拾五錢壹厘

內

金貳百七拾九萬千七百七拾四圓貳拾參錢九厘 明治二十八年年度迄支出高

金參百參拾貳萬參千九百四拾四圓 參拾壹錢貳厘

此改定年額額左ノ如シ 明治二十九年年度以降支出高

明治二十九年年度

金參拾五萬四千七百四拾參圓貳錢貳厘 款 土木事業費

金參拾五萬四千七百四拾參圓貳錢貳厘 項 木曾川修築費

明治三十年年度

金五拾萬九千七百壹圓貳拾九錢 款 土木事業費

金五拾萬九千七百壹圓貳拾九錢 項 木曾川修築費

明治三十一年年度

金九拾六萬貳千五百圓 款 土木事業費

金九拾六萬貳千五百圓 項 木曾川修築費

明治三十二年年度

金九拾萬七千圓 款 土木事業費

金九拾萬七千圓 項 木曾川修築費

明治三十三年年度

金拾八萬千圓 款 土木事業費

金拾八萬千圓 項 木曾川修築費

明治三十四年度

金拾五萬五千圓 款 土木事業費

金拾五萬五千圓 項 木曾川修築費

明治三十五年度

金拾壹萬九千五百圓 款 土木事業費

金拾壹萬九千五百圓 項 木曾川修築費

明治三十六年度

金九萬參千五百圓 款 土木事業費

金九萬參千五百圓 項 木曾川修築費

明治三十七年度

金四萬千圓 款 土木事業費

金四萬千圓 項 木曾川修築費

第二

澱川改修費 款 土木事業費

澱川改修費 項 木曾川修築費

總額

金九百九萬四千圓 款 土木事業費

金九百九萬四千圓 項 澱川改修費

年額

明治二十九年年度 款 土木事業費

金百萬千參百圓 項 澱川改修費

金百萬千參百圓

明治三十年度

金參百八拾九萬千參百圓

金參百八拾九萬千參百圓

金百五拾五萬貳千六百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

金參拾九萬千參百圓

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

明治三十二年度

金拾七萬貳千圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

金拾七萬圓

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

款 土木事業費

項 澗川改修費

○議長(侯爵須賀茂韶君) 別ニ御異議ナイト認メマシテ原案ニ決シマス、表題ヲ問題ニ供シマス

第一條 明治二十九年年度歳入歳出追加額ヲ各百參拾五萬八千六百拾參圓五拾八錢五厘ト定ム其款項ノ金額ハ別册歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

第二條 別册乙號所掲ノ費途ハ各其規畫スル所ニ隨ヒ明治二十九年年度以降ノ繼續費ト爲シ若クハ既定ノ年限金額ヲ改定ス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、議事日程ノ輸入棉花海關稅免除法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(公署近衛篤磨君演壇ニ登ル)

○公署近衛篤磨君 本案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報申シマス、本案ノ委員會ハ開キマシタルコトハ僅カ唯一回デゴザイマス、併ナガラ隨分綿密ナル質問モアリ又政府委員ニ於キマシテモ鄭重ナル答辯モアリマシテ、又反對贊成ノ演說モ餘程綿密ナル所マデ涉リマシテ討論ヲセラレマシタ、成程此原案ハ政府提出デアリマシテ政府ノ原案通ニ委員會ハ通過致シマシタガ併ナガラ決シテ是ハ盲目的ノ決議デハナカッタノデアリマス、其邊ヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、反對贊成ノ演說ニ就キマシテ其說ノアリマシタ大體ヲ述ベヤウト存シマス、反對者トシテ主トシテ演說ヲサレタノハ田中芳男君デアリマシタ、其說ノ要領ハ今日棉花ノ輸入ニ附イテ輸入稅ヲ課シテ居ルニモ拘ラズ紡績ト云フモノハ非常ニ發達シ非常ニ速力ヲ以テ發達シテ居ル、必シモ輸入棉花ノ海關稅ヲ免除シテマデ紡績ナルモノヲ保護スルニハ及バヌト云フノガ一ツ、ソレカラ此輸入稅ニ附イテ凡ソ五十二萬圓程政府ノ收入ガ減ズルノデアアル、一方ニハ苛酷ナル租稅ヲモ取立テナガラ左程必要モナイ……紡績ハ獨リ發達シテ行クニモ拘ラズ其紡績ヲ保護スルニハ輸入稅ヲ免除スルト云フ法ハナイト云フノガ是ガ第二ノ理由デアアル、ソレカラ政府委員杯ハ日本ノ綿ヲ以テ十分ニ日本ノ紡績ノ需要ヲ供給スルコトハ出來ナイ、足りナイノデアアル、且ツ用途ガ違フノデアアル、日本ノ綿ノ如キハ紡績ニハ餘リ適當シタモノデアナイカラシテ外國ノ綿ヲ輸入スル必要ガアル、ソレカラ又日本ノ綿ハ中入レ綿トカ其他用途ガアルノデアアルカラ用途ガ違フ以上ハ別段ツ

レ程ノ必要ハナイト云フケレドモ中入レ綿ノ如キハ支那綿ガ這入ッテ來テ日本ノ綿ヲ蠶食シテ居ル、ソレデアアルカラシテ日本ノ綿ニ影響シナイト云フコトハナイ、即チ影響スルノデアアルカラシテ日本ノ棉花ノ耕作家ヲ大ニ苦メルト云フ結果ニ爲ル、是ガ二ツノ理由デアリマス、ソレカラ内地ノ綿作ニ拘ラズ外國ノ綿ヲ大ニ輸入スルコトニナレバ自ラ日本ノ紡績機械ヲ廻シテ行ク若シモ太平ノ時ニ當ッテハ外國ノ綿ヲ輸入シテ日本ノ紡績機械ヲ廻シテ行クコトガ出來ルガ一朝、事ガアッテ其原料ヲ得ル所ノ途ガ塞ルトキハ忽チ大驚慌ヲ來スト云フモノデアアルカラ内地ノ綿作モ獎勵モシナケレバナラヌコトデアアル、其防害ニナル輸入稅免除ト云フコトハ宜シクナイト云フ、是モ一ツノ理由デアアッタヤウデアリマス、ソレカラ又此紡績業ノ發達ヲサセルタメニハ必シモ輸入稅ヲ免除セヌデモ宜イ輸入稅ハ輸入稅テ取ッテ置イテ戻シ稅ト云フ一ノ便法ガアルデハナイカ、サウスレバ一ハ政府ノ收入ニハ差支ナク又一方ニハ輸出ヲ獎勵シ棉花ノ發達ヲ圖ルト云フ兩便ガアル、ソレ等ニ依ラズシテ輸入稅ヲ免除スルハ宜シクナイト云フ、是ガ反對ノ點デアアッタト私ハ考ヘマス、又贊成ノ方ノ側ハニ於キマシテハ綿ト云フモノハ成程日本ニ出來ル地方モアル併シ今耕作ヲシテ居ル段別ハ内地ニハ八万町許リテ僅ク僅デアアル、假令之ヲ發達サセテモ非常ナ發達ハ來サヌデアリマス、是ハ土質ニ依リ又氣候ニモ依ルコトデアアル、大ニ發達シタ所ガ日本ノ綿ヲ以テ十分ニ日本ノ紡績機械ヲ動かシ尙ホ之ヲ海外ニマデ輸出スルコトハ決シテ出來ナイデアアル、即チ日本ノ綿ニハ十分ニ適當シタ所デアリナイト云フノデアアル、然ルニ内地人ノ供給ニサヘ十分ナラヌ所ノ綿ヲ獎勵シテモ左程ノ結果ヲ見ナイノニ一方ニハ輸入稅ヲ課シテ棉花ノ原料ノ輸入ヲ塞グテ望ナル紡績業ヲ妨クナイ、況ヤ此東洋ノ貿易上ノ發達ニ關シテモ決シテ此有望ナル紡績業ヲ妨グテ其發達ヲ鈍ラシムルヤウナコトハ甚ダ宜クナイデアアルソレデ此棉花即チ原料ノ輸入ノ如キコトハ成ルベク緩クシテ其工業ヲ發達セシムルト云フコトハ或ハ成程一部ノ農民ヲ苦シメテ一部ノ工業者ヲ助クルト云フヤウナモノニ表面上一寸見エルトデアアルケレドモ必シモ國ノ全體カラ云ヘバ決シテ左様ナモノデアリナイ所謂差引勘定ヲシテ此國ノ上カラ大變ナ利益ノアル話デアアル、先ヅ大體ノ議論ハソレデアリマスルガ尙ホ今ノ戻シ稅ノ事ニ關シテハ政府委員ノ陳辯セラレタ所ガアリマスガ其說ニ依レバ戻シ稅ハ成程便法デアアル併ナガラ此戻シ稅ト云フモノモ棉花ニ取ッテハ隨分多數ノ多イ話デアアル實綿デ輸入スル分モアリ線綿デ輸入スル分モアルソレヲ段々輸出スル時分ニ是ハ線綿デ輸入シタ分デアアルトカ實綿デ輸入シタ分デアアルトカ云フコトヲ見分ケテ戻シ稅ヲ、割戻シタルト云フコトハ、到底出來ナイ事デアアル是ハ實際手續上ツツカシイ話デアアルカラ便法デアアルガ是ハ出來ナイト云フ陳辯デアリマスシタ大體ノ議論ハ尙ホ此商業發達上トカ工業發達上トカ云フコトニ就イテ言ヘバ隨分長イコトデアリマセウガ要スルニ前ニ述ベマシタ通反對贊成ノ議論ハ唯今述ベタ所デアリマセウガ要スルニ前ニ述ベマシタ通反對贊成トシテハ是ニ止メマシテ必ズ田中君ナリ本案ニ反對ノ諸君カラ論辯ガアリマセウカラ又贊成ヲサレタ所ノ諸君カラモソレニ對シテ御議論ガアリマセウカラ報告ハ是デ止メマス

(田中芳男君演壇ニ登ル)

○田中芳男君 唯今委員長カラ縷々御述べニナリマシテゴザンスルカラシテ本員ガ見込マシタ所ハモウ盡キテ居ルヤウニ考ヘマス、然ラバ此上蛇足ヲ附ケテ申上ル程ノコトモナイヤウデアゴザンスルケレドモ尙ホ是カラ今日ハ私ノ意見ヲ一通リ述べヤウト考ヘマス、固ヨリ私ノ見マスル所ト政府ノ見マスル所ガ同一デアリカ事ガ生ズルデアアッテ若シ此見ル所ガ兩方同ジダッタラバ決シテ何モ彼モ是言フニ及バヌ其所見ノ違フ所ヲ本員ハ述べヤウト考ヘマス、扱此案ノ提出ニナリマシタ由來ヲ申シマスルト是ハ議會ガ始ッテ以來モウ始終有リマスル事デアリ初メハ請願デアリ次ニ衆議院ノ議案ト爲ッタト云フヤウナ譯デ此工業者ガ數年間ノ熱望ニ依リマシテ且ハ團結一致ノ效ニ依ッテナカク能ク手ガ廻ッテ能ク調ッテ居リマスル、既ニ先般工業家カラ出マシタ所ノ此書面ノ如キモノニ至リマスルト是ハナカク工業者ガ能ク調ベテ居リマス、各位ニ於テモ是位發達シタト云フコトハ御承知ニナッテ居ルコト、思ヒマス、從前此輸入稅ノ免除ノ案ガ出マシタ頃ニハ未ダ政府案トハ爲ッテ居マセナカッタノデモウツハ此本院ノ議事ニハ遂ニ今日マデ上ラズニ居リマシタ、然ルニ今度ハ戰後ノ經營ト共ニ政府案ト爲ッテ提出ニナリマシチ同意ヲ得テ衆議院ハ經過シタニ違ヒナイ、又過日本院ノ特別委員ノ集會ニ於キマシテモ本員ハ反對ヲ述ベマシタガ併シ少數ニ陥リマシテ成立チマセヌダツタ即チ其少數ト申シマスルモノモ過日集會シタ時ハ七名、委員長マデ入レテ七名デアリマシタ起立ニ問ハレマシタ所ガ三名、三名ト云フ同ジ數ノ起立ニナリマシタ、然ルニ委員長ハソレヲ決セラレマシタ時ニ政府案ニ同意ヲサレマシタニ就イテ所謂我々ノ意見ハ少數トナッテ倒レマシタ譯デアアル、又昨日豫算案ノ内ニモ既ニ此輸入稅ト云フモノハ免除スル目的ニナッテ此五十三萬圓ト云フモノハ既ニ減少スルコト云フ説明ニモナッテ居リマスル故ニ政府デハ勿論是ハ廢シテ任舞フト云フ御見込ガ極ッテ居ルニ違ヒナイ、五十三萬圓ヲ當テニナサラヌト云フコトニナッテ居リマス、扱此輸入稅ヲ免除致シマスレバ我國ノ物産ニドノ位關係ヲ及サヤ否ヤト云フコトニ就イテハ本員ハ甚ダ憂フル所ガアリマスル、第一又免稅ト云フコトヲ考ヘマスルト成程免稅スルト云フコトハ誠ニ雜作ナク出來マスガ再ビ稅ヲ取立テヤウト云フコトニナリマス餘程ムツカシイ事ガアリマスルカラシテ免スハ易ク起スハ難イト云フコトニナリマスルカラシテ即チ此ヤウナ案ハサウ急激ニ施スベキモノデアリナイト云フ考ヲ持ッテ我々杯ハ廢案ノ說ヲ唱ヘマシタ、併シ本員ノ述べマシタ所ハ紡績業者ノ旺盛ニ趣キタルノト較ベテ見ルト是ハ實ニ寥々タルモノト言ハナケレバナラヌ、如何トナレバ此地方ノ實業家即チ農業者ノ如キモノハ唯共同團結スルコトモ出來ズ地方々々ニ固著シテ居ッテ知ラズ識ラズ其影響ヲ蒙ッテ、詰リ是天ニ號泣スルヨリ外仕方ガナイト云フ境界ニ陥ル、一方ハ共同團結シテ運動モ同クシテ居ル、ドウシテモ一方ノ勢ガ宜シイ、其共同團結モ出來ズ唯是天ニ泣クヤウナ者ヲ助クル人ハ更ニ無イ、本員ノ如キハ是等ノ旻文ニ號泣シテ居ル者ヲ助ケタイト考ヘテ居リマス、殊ニ新規ノ稅則杯ガ種々出マシテ一般ノ人民ノ頭ニ掛カルモノハナカク多クナッテ居リマス、然ルニ此案ヲ提出ニナッテ輸入稅ヲ免除シテ仕舞フト云フガ是ハ先般出マシ

要點ダケニ致シマス、唯今申シマスル通八万町歩モ有リマスル地面ニドレ位
人間ガ有ルカト云フコトヲ考ヘテ見テモ分ル、唯今棉作ノミヲシテ生活シテ
居ル人間ヲ謂ベテ見マスルニ四千九百二十三万九千四百五十八人居ル、其人間
ガドウモ此外國カラ綿ガ這入ツタ以上ハ次第ニ衰微シテ零落シテシマフ、仕
舞ニハ路頭ニ迷ヒ出スト云フ事ニナル、若シ此外國カラ綿ガ我國ノ棉作
ニ關係ガナイト云フコトニナリマス先刻モ委員長ガ御述ベニナツタヤウナ
モノデ近年外國カラ來テ居ル綿ヲ用ヒルメニ我國ノ綿ガ甚ダ不割ケニナ
タト云フコトハ能ク分ツテ居リマス、ソレ故ニ他ノ事ハ止メマシテ本員ノ
望ム所ヲ述ベマスルト勢ヒ今日ノ棉花輸入稅ノ免除ト云フモノハ勢ノアル間
題デアリマスルカラ若モ是ガ通過致シタナラバ、ソレニ代ル所ノ方法ヲ何カ
一ツ欲シイト思ヒマス、ソレハ即チ内地ノ棉作ヲ獎勵シテ貰ヒタイ、内地ノ
棉作ト云フモノハ從來獎勵スル道ガ甚ダ乏シクナツテ居ル、今日學理ノ開ケ
ルニ從テハ是非トモ肥料ノ調ベヲシテ今日マデノ如ク澤山ノ肥料ヲ使ツテ
ソレガタメニ收支償ハヌコトノナイヤウニ學理ヲ應用シテ我國ノ棉作ヲ改良
サセルト云フ道ヲ講シナケレバナラヌ、又亞米利加カラ這入ツテ來タあつふ
らんど、こつとんノ如キモ追々ニ作ルヤウニシタイト思ヒマス、此陸地棉ト
云フモノハ我國ニハ不適當ナヤウニ是マデ申シテ居リマスガ是ハ作リ試ミタ
ナラバ決シテ出來ヌモノデハナイ初メノ想像カラ遂ニ出來ヌモノ、ヤウニ考
ヘテ居ル者ガ多ク、昔ハ北海道ニ米ハ出來ヌト云フコトヲ考ヘテ居ツタガ近
年作ルヤウニナツテ見ルト北海道ハ殆ド米國ト云フヤウニナツテ來テ居ル、
是等ヲ以テ考ヘテモ決シテ移植スルト云フコトガ出來ヌコトデハナイカラ此
移植ニ附イテハ補助ナリ獎勵シテ十分ニ作ルヤウニシタイト思フ、尙ホ又新
販圖ニナリマシタ臺灣ノ如キハ棉作ニハ最モ適當ナ氣候ヲ持ツテ居ル土地ト
考ヘマスカラ是等ニハ是非棉作ヲ開クダケノ獎勵ヲシテ貰ヒタイ、万一此案
ガ通過致シマスレバ唯今希望ヲ述ベマシタヤウナ所ニ十分政府デモ力ヲ盡シ
テ我國ノ棉作ノマルデ絶エナイヤウニ致シタイ、此絶エナイヤウニ致シマス
ルニハ内地ニ棉作人ヲ保護スルバカリデハアリマセヌ、万一事ノ有ツタ時ニ
内地ニ少シモ綿ノ無イト云フコトニナリマシタナラバ人民ハ饑寒ニ苦ムト云
フコトニナリハセヌカト思ヒマスルカラシテ是非トモソレダケノ事ハセヌナ
ラヌト考ヘマスル、モウ一ツハ先刻委員長カラ御述ベニナリマシタ戻シ稅ノ
事デアリマス、外國ノ綿ヲ愈々用ヒルコトヲメニ澤山ノ輸入稅ヲ徵收スル
ト云フコトニナリマスレバ工業家ガ再ビ之ヲ製シテ外國ヘ出スト云フ時ニハ
戻シ稅ト云フモノヲドウゾ用ヒテ貰ヒタイト云フコトヲ本員ハ望ミマス、併
シ戻シ稅ト云フモノガ出來ナケレバ他ニ之ヲ獎勵スル方ノ方法ヲ……所謂航
海獎勵ノヤウナ方法ヲ以テ立テレバ強チ法ノ立タヌト云フコトモアルマイカ
ト本員杯ノ考ヘマスル、此他外國ノ品物ヲ我國ヘ追々作り、サウシテ我國ノ
物産ヲ發達サセルト云フヤウナ例ハ外國ニハ比々有ル事決シテ珍シイコト
デモナシ、我國モ今ヨリ二三百年前ハ外國ヨリ這入ルモノヲ作ルノニハ……

(男爵小澤武雄君 綿ノ事ニハ關係ガナイヤウデス)ト述フ)

何ガ關係ガナイノデスカ

(子爵小笠原壽長君「ドウカ簡單ニ願ヒマス」ト述フ其他「簡單」ト呼フ者アリ)

綿密ニヤラナケレバナラヌデス、此「綿」ノ字デスカラ……先ツ簡單ニヤリ
マスガ唯今述ベタヤウナ譯デアリマシテ免稅ト云フコトハ甚ダ我國ノ棉作ニ
ハ大ナル影響ヲ及スモノト本員杯ノ考ヘマスルカラシテ此細民ノ饑寒ニ苦ム
コトヲ考ヘマスルト何分ニモ此案ヲ贊成スルト云フコトハ出來マセヌカラ是
非トモ之ヲ廢案ニセヨト云フガ本員ノ持論デアアル、皆サシ御同感ノ方ハ御贊
成下サルヤウニ希望シマス、此外マダ述ベタイ事モアリマスガ是ハモウ止メ
マス

○子爵會我祐準君 一寸田中君ニ御尋シマスガ今ノ御演說中ニ隴ヲ得テ蜀ヲ
望ム、前年輸出稅ヲ免ゼラレタ所ガ今度ハ又輸入稅マデモ免ゼラレタイト云
フ希望ヲ持ツテ居ル、人ノ慾ト云フモノハ段々ノ附イテ居ルモノガカラ際限
ガナイト云フ御論ガ一段アリマシタガ此棉花ノ事ニ附イテ即チ紡績屋ナリ何
カ、此上何カ申出スト云フ箇條ガアリマセウカ今隴ハ得テ居リマスガ更ニ蜀
ガ有リマセウカソレガ一ツ、ソレカラ今一ツハ……

(田中男爵君「ソレハ私ノ考デアハ蜀ヲ望ムト云フノハ……」ト述フ)
マア御待チ下サイ、私ガ質問スルノデスカラ……ソレカラモウ一ツハ棉作ノ
地ト云フモノハ他ノモノハドウシテモ作ラレヌ棉作ノ地面ハ他ノモノハ作
ラレヌカラ縱令外ノモノガ有ツテモ何デモ作ラレヌト云フコトハ出來ヌト云フ御
議論ガアツテソレカラ又以前北海道ニハ米ハ出來ヌト云フコトデアツタガ近
年ハ作ルヤウニナツテ能ク出來ルト云フ御演說ガアツタガ此ノ二ツノモノハ相
容レヌヤウニナル北海道ハ米ガ出來ヌト云フテ居ツタガ作ラレバ出來ルト
云フ御話ト棉作ヲ居ル地面ニ外ノモノハ出來ヌト云フ御議論ト少シ此議
論ハ自家御撞著デアアルマイカ、併シ是ハ私ガ農作ノ事業ノ事アラナクニ向ッ
テ難ズルト云フハ少シ是ハ間違ッタ話デアゴザイマスガドウカ御教示ヲ願ヒマ
ス

○田中男爵君 御答致シマス、隴ヲ得テ蜀ヲ望ムノハ所謂綿絲ノ輸出ガ無稅
ニ爲ルト此上輸入ノ棉花ノ稅ヲ免除シテ貰ヒタイ、是ガ無稅ニ爲ツタ上ニハ
尙ホ製造品ヲ外國ヘ出スニ附イテハ是ミデ保護ヲシテタレト云フヤウナコト
モ出マスルト思ヒマスルカラ、ソレ故隴ヲ得テ蜀ヲ望ムト云フコトヲ申シタ
ノデ、又棉作ノ事ハ日本ノ從來ノ棉作ト云フモノハ自然ノ經驗ノ上其區畫ガ
略々極ツテ居ルノデアアル、ソレ故ニ是等ノ所ヘ俄ニ外ノ物ヲ作ルト云フコト
ハ出來ヌト云フコト、モウ一ツ北海道ノ米ノ事ヲ比例ニ出シマシタノハ外國
カラあつふらんど、こつとん即チ陸地棉ト云フモノヲ種ヲ傳ヘテ試驗ヲシテ
見ルト追々其試作ニ附イテ好結果ヲ得テ居ルノデ、ソレナラバ是ガドウカト
云フト今ヨリ十年前ハ日本ニハ逆モ此陸地棉ハ適サナイモノデアルト云フ論
ガアツタノガ昨今ハドウカモ作ラレテソレガ出來ルヤウニナツタ、丁度外國ノ
棉ヲ日本デ作ルヤウニナツタノガ十年前ノ論ト今ノ論トハ違ヒマス、丁度北

見ルト追々其試作ニ附イテ好結果ヲ得テ居ルノデ、ソレナラバ是ガドウカト
云フト今ヨリ十年前ハ日本ニハ逆モ此陸地棉ハ適サナイモノデアルト云フ論
ガアツタノガ昨今ハドウカモ作ラレテソレガ出來ルヤウニナツタ、丁度外國ノ
棉ヲ日本デ作ルヤウニナツタノガ十年前ノ論ト今ノ論トハ違ヒマス、丁度北

海道ニ以前ハ米ガ出来ナイト云々ノガ今デハ出来ルヤウニナッタト云フノト同シ事デアルト云フノデ北海道ヲ比例ニ取ツタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 サウシマスルト棉ヨリ外ニ出来ヌト云フ先生ノ御見込デアツタ所ガ何ガ出来ルヤラ分ラヌノデスナ

○田中芳男君 棉作ノ事ト陸地棉ノ事ト云フらんと、こつとんノ事トハ又別論デアリマスカラ、ソコハ別ニ申シタ積デアリマスガ少シクツキマシタト見エマス、ソレハ決シテ一緒デハナイノデス

(小幡篤次郎君發言ヲ求ム)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小幡君ハ御意見ヲ御述ベニナルノデスカ...然ラバ一應休憩ヲ致シマス

午後零時十分休憩

午後一時四十九分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日衆議院ヨリ政府提出、明治二十九年年度歳入歳出總算追加案ヲ受領致シマシテゴザイマス、本日前田正名君ヨリ三十名ノ賛成ヲ以テ生絲保護ニ關スル建議案ヲ發議セラレマシテゴザイマス、午前ノ會議ヲ繼續致シマス

(小幡篤次郎君演壇ニ登ル)

○小幡篤次郎君 諸君、此議案ニ就キマシテハ既ニ諸君ノ御高案モゴザリマス誠ニ會期モ僅ノ時間ニ迫ッテ居リマス時ニ喋々辯シマシタ處ガ別ニ諸君ノ御參考ニナリマス程ノ決シテ名案ハゴザリマセヌガ唯委員會ニ於キマシテ贊成致シマシテゴザリマスカラ其贊成ノ理由ヲ一應諸君ノ御耳ニ入レマス、全體此議案ハ今日色々ノ稅ヲ課シマス時ニ當リマシテ五十餘萬圓ノ免稅ニナリマスト云フ議案デゴザリマス、今一ツハ棉作ヲ致シマス農業者ニ對シマシテ幾分カ損害ヲ及スト云フコトモゴザリマスノデ田中君ヨリノ御演說モ幾分カ力ノナイデモゴザリマセヌ御尤ト存シマス、併シ此棉花輸入稅免除ノコトニ附キマシテハ多年ノ間議論モゴザリマス、從ッテ段々今日工業發達ノ模様ヲ御覽ニナリマシタラ諸君ニモ既ニ此案ノ尤ナト云フ考ヲ生ゼラル、コト、存シマス、全體御承知ノ如ク日本ニ棉作ハ以前モゴザリマス、今日モ遣ッテ居リマスデゴザリマスガ其町歩ヲ政府委員ニ承リマスレバ八万町歩モ耕作ニナッテ居ルサウデゴザリマス、此八万町歩ノ耕作致シマス作棉人ニ對シテ免稅ニナリマスコトハ多少損害ヲ來スコトハ本員モ認メテ居リマス、併シ日本ニハ棉ハ十分ニ適當スル國トハ申サレマセヌ、棉ハドウシテモ熱イ國ニ出来マス産物デゴザイマス以前ヨリ棉ハ年々歳々不足デゴザリマシタガ此貿易ノ始マリマシタルヨリ綿絲ノ輸入ソレカラ織物ノ輸入モ非常ノ高デゴザイマシテ近來ニ至リ日本ノ工業ノ發達ノタメニ製作品ハ輸入ガ減シテ參リマシタノデゴザリマス、此原料ガ今日這入りマス高ハ一億五千萬程ノモノガ輸入ニナッテ居リマス、日本デ出来ル棉ハドノ位有ルカト云フニ目方ニ致シマシテ七千五百斤モゴザリマス是ヲ繰リマスト二千五百斤デゴザリマス、凡ソ日本ニ

出来マス棉ハ外國ヨリ輸入致シマスル五分ノ一許リデゴザリマス、茲ニ日本入ノ著テ居リマス綿布ハ即チ六枚著マスレバ其中一枚ハ日本ノ棉デ作リマシテ、アトノ五枚ハ外國ノ棉デ作ルト云フ勘定デアリマス、シテ見マスレバ此免稅ハ必シモ此工業者バカリヲ利益スルト云フモノデハナクテ即チ其種類ヲ用ヒテ居リマス者ガ六枚買ヒマスレバ其中ノ五枚ハ外國ノ棉ヲ用ヒテ居リマスノデ、是モ自ラ廉クナル方ノモノデゴザイマシテ必シモ俄ニ工業者ニバカリ利益ノ歸スル次第ノモノデハナイト考ヘマス、是ハ田中君ハ富メルニ繼グト云フ御議論デゴザイマシタガ是ハ經濟上ノ理窟ニ從ヒマシテドウシテモソレダケノ免稅ガゴザイマシテ原料ノ棉ガ廉クナレバ其製作致シマスモノモ自ラ廉クナリマス勘定ノモノデ、此利益ハ國內一般ニ及シマスモノデアリマス、此五十餘萬圓ト云フモノヲ割ッテ見マス輸入致シマス一億五千萬ト云フモノニ對シテハ一斤ニ附キマシテ凡ソ三錢程ノモノデゴザイマシテ日本ノ七千五百萬斤ニ對シマス一斤ニ附イテ一錢ト申スモノ、響キニナルノデゴザイマスガ、此方カラ申シマスレバ誠ニ些細ナモノデゴザイマシテ其利益ノ及シマス所ハ必ズ工業ヲ執リマス所ノ者バカリデハアリマセヌ、一般ニ及スモノデゴザイマス、加之今日之ヲ免除致シマス利益ノゴザイマスト云フノハ日本今日ノ工業ハ畜ニ國內バカリノモノデハゴザイマセズ、モウ此亞細亞地方ノ綿絲ノ紡績デゴザイマストカ申スモノハ日本デ是非供給セナクテハナラヌト云フ有様ニ追々進歩致シテ參ッテ居リマス、是ヨリ先キ益發達致シマシテ日本ヨリ製絲ヲ致シマシテ紡績ヲ使ヒマシテ支那香港或ハ南ハ濠洲邊リニモ諸方ノ港ニ輸出致シマシテ日本ノ綿絲及日本ノ織物ヲ總テ供給シナケレバナラヌト云フ時代ニ追々トナッテ參ッテ居リマス、今日ハ未ダ海外ニ輸出スル綿類ハ僅カ糸織物デ三百萬圓餘リノモノデアリマスガ、是ハ數年ヲ出マセヌデ必ズ千萬ヲ以テ數ヘマス程ノモノニナルダラウト思ヒマス、之ヲ助ケマスト云フコトハ片面ニ日本ニ餘リ相應致シマセヌ棉作ヲ助ケマスノト、之ヲ總ベマシテ大ニ海外輸出ノ途ヲ盛ニ致シマスモノト比較致シマスレバ日本ノ總體ノ利益ニ附キマシテハ迎モ大小ノ較ベハ出来ナイト考ヘマスノデ本員ハ此輸入免稅ト云フコトニ贊成ヲ致シマシテ此案ノドウゾ通過致シマスヤウニ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 議長

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御質問デスカ

○子爵小笠原壽長君 本員ハ討論終局ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○子爵本莊壽五君 一言述べタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ノ討論終結ノ動議ガ出マシテ贊成ガゴザイマス、討論終結ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、唯今ノハ確カニ多數デゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス出席總數百五十七、可トスル議員九十三、否トスル議員六十四、討論終結ニナリマシタ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

〔「少數々々」、「多數々々」異議ヲ唱ヘマスト呼フ者アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 餘リ明デアアルノニ御異議ノ御申立ハ不當ト思ヒマス

○子爵堤功長君 本案ハ讀會ヲ省略致シタイ

○子爵土方雄志君 本案第二讀會ヲ開カレンコトヲ請求シマス

○男爵西五辻文伸君 贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

○子爵鍋島直彬君 贊成

○子爵林友幸君 贊成

○子爵秋田映季君 贊成

○西村亮吉君 贊成

○宮島誠一郎君 贊成

○渡邊甚吉君 贊成

○水之江浩君 贊成

○角田林兵衛君 贊成

○小原重哉君 贊成

○佐藤清右衛門君 贊成

○野崎武吉郎君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト土方子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

〔笑聲起ル〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第二讀會ヲ直ニ開キマス……

〔本案第二讀會ニ於テ修正ナキヲ以テ略ス〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○子爵小笠原壽長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……

○子爵本莊壽巨君 贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○子爵林友幸君 贊成

○野崎武吉郎君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○小原重哉君 贊成

○千阪高雅君 贊成

○宮島誠一郎君 贊成

○吉村角次郎君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ヨリ直ニ第三讀會ヲ開ク此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシタ

○公爵近衛篤磨君 議長……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待ヲ請ヒタウゴザイマス……今朝後週シニナツテ居リマスル臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設置スルノ法律案之ヲ速ニ議シマセスト衆議院ニ又送付スルノ手續モアリマスルニ依ツテ此際議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ別ニ御異議ナシト認メマス然ラバ變更ニ決シマス、是ハ委員ニ付託スルコトモ省略ニナルヤウニ致シタイト云フ政府カラノ要求デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 朗讀ハ省略致シマス

(本案ハ午前ノ會議ニ掲載セルヲ以テ略ス)

(政府委員水野遵君演壇ニ登ル)

○政府委員(水野遵君) 唯今議事日程ノ變更ニナリマシタ臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設立スルノ法律案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマスルハ臺灣ニハ此項豫算ヲ兩院ノ協賛ヲ得マシタ數千萬圓ノ金ヲ一年内ニ費消致シマスルノト又新領土ノ臺灣ハ一千哩以上モ内地ト隔絶致シテ居リマスルカラ會計検査上ノ書面ノ往復等ヲ一々致シマスルト大變手數デゴザイマスル且ツ一度ビ新領土ニ會計ノ監督ヲ誤リマスレバ其毒ハ流レテ數年後ニ至リマスト云フコトハ皆豫御承知ノ通デゴザイマス故ニ政府ニ於キマシテ此會計監督ヲ極メテ精密ニ致ス目的ヲ以テ臺灣ニ會計検査院支廳ヲ設ケマシテ適當ノ吏員ヲ派遣シテ最初ヨリ臺灣ノ財政ヲ監督セシメヤウト云フ方針デゴザイマス、是ガ本案提出ノ理由デゴザイマス、且ツ會期切迫ニ際シマシテ之ヲ提出致シマシタノハ甚ダ政府ニ於テモ遺憾デゴザイマスルガ取調ノ末又臺灣總督ノ歸朝ヲ待チマシテツレノ取調ノ手續ヲ得マシタ故ニ提出ガ遲ウナリマシタルノデゴザイマス、是ハ諸君宜シク御諒察ノ上速ニ協賛アラシコトヲ希望致シマス

(松本鼎君) 是ハ矢張政府ヨリ讀會省略ノ要求ニナッタノデゴザイマスカト述フ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 要求ニナッタ居リマス……別ニ此案ニ對シテ御發言ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ政府ヨリ讀會ヲ省略シテ決議ニ爲リタイト云フ要求ガゴザイマスニ依ッテ此決ヲ採リマス、讀會ノ順序ヲ省略スルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ノ多數ト認メマス、三讀會ハ省略ニナリマシタ……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、……衆議院ヨリ本日會計検査院法中改正法律案、會計検査官退官ニ關スル法律案、本院ノ議決ニ同意シテ上奏致シタ趣ノ通知ガゴザイマシタ、日本勸業銀行法案、農工銀行法案、静岡縣下郡廢置法律案、福島縣下郡廢置法律案、岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案、是ダケノ法案ハ本院ヨリ衆議院ニ廻付致シ置キマシタル所、衆議院ニ於テ本院ノ修正ニ同意シテ上奏致シタ趣ヲ通知シ來リマシテゴザイマス

○公署近衛篤磨君 先刻御報告ニナリマシタ此豫算ノ子號デゴザイマスガ、是ハ法律ノ結果デアリマシテ最モ簡單ナモノデゴザイマスカラシテ委員會ニ付託ニナラズニ議場ニ於テ即決ニナルヤウニ願ヒタイと思ヒマス、サウシテ此際議事日程ヲ變更シテ此所デ直ニ議スルヤウニ願ヒタイと思フデアリマス、ツレカラ又勸業銀行ニ關シマスル豫算案モ衆議院ガ既ニ此法律案ノコチ

ラノ修正ニ同意シタト云フ以上ハ引續イテ此子號ノ後ニ議スルヤウニ致シタイト思ヒマス、議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵西五辻文仲君 贊成

○山田卓介君 贊成

○瀧口吉良君 近衛公爵ノ動議ニ贊成致シマス

○森山茂君 贊成

○菊池大麓君 近衛公爵ニ質問致シマスガ、豫算ヲ豫算委員ニ付託セズシテ議決シテモ議院法ニハ抵觸セヌト云フ御考デゴザイマスカ、其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今近衛公爵ヨリ豫算ノ事ニ附イテ御發議ニナリマシタガ……

(子爵舟橋遂賢君「ドウカコチラへ願ヒタイ、演壇デ」ト述フ)

(國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 此事ノ緊急ニ屬スルコトハ申スマデモナイコトデアリマスカラ政府ニ於テモ議院法第二十八條ノ但書ノ手續ニ依ラレンコトヲ要求致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ審査期間ヲ定メテサウシテ豫算委員ニ付託スルト云フノガ是マデノ手續デゴザイマスガ、近衛公爵カラ委員ニ付託スルコトヲ省略シタイト云フ動議ガアッテ贊成モゴザイマスルシ、又政府ヨリモ同様ニ要求スルト云フコトデゴザイマス、別ニ御異議ガナケレバ委員ニハ付セヌコトニナリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵曾我祐準君 僅ナコトデゴザイマスガ一言申上ゲテ置キマス、政府ノ要求ヲ容レルノハ宜シイガ政府ノ要求ニ依ラズニハムツカシイト思ヒマス、單ニ政府ノ要求ヲ容レテ手續ヲ省略スルト云フコトニスル方ガ宜カラウト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ツレハ其通り規則ニゴザイマス、政府ノ要求ニ依ッテ委員ニ付託スルコトヲ省略スルト云フコトニナリマス、次ニ近衛公爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ此豫算追加案ノ子號ヲ議スルト云フ、是ニモ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ直ニ議事日程變更ニナリマシテ豫算追加案子號ヲ議シマス、是ハ歳入經常部ト云フ所カラ仕舞マデ全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス 以下)

第四款 雜收入 金百四拾八圓七拾壹錢

歳入經常部

歳入經常部

第五項 官吏遺族扶助法納金 金百四拾八圓七拾壹錢

歲入臨時部

第六款 製艦費補足金 金千四百八拾七圓拾錢

第二項 納付金 金千四百八拾七圓拾錢

第九款 前年度繰入金 金壹萬九千四百六拾壹圓九拾九錢貳厘

第一項 前年度繰入金 金壹萬九千四百六拾壹圓九拾九錢貳厘

歲入臨時部合計金貳萬九千四百六拾壹圓九拾九錢貳厘

歲入總計金貳萬九千九拾七圓八拾錢貳厘

歲出經常部

大藏省所管

第八款 會計検査院 金貳萬九千九拾七圓八拾錢貳厘

第一項 俸給及諸給 金壹萬四千八百七拾壹圓

第二項 廳費 金千五百參拾四圓七拾壹錢壹厘

第三項 修繕費 金五百圓

第四項 旅費 金千六百七拾壹圓七拾六錢

第五項 雜給及雜費 金貳千五百貳拾圓參拾參錢壹厘

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今委員會が省略ニナリマシテニ就キマシテ一應

要求致シマシテ理由ヲ説明致シテ置キマス、今回要求ニナリマシテ人員ハ檢

査官補ガ八人ツレカラ屬官四十名デゴザイマシテ、是マデハ檢査官補ガ二十

名、ツレニ附屬スル屬官ガ百二十名デゴザイマシテ、御承知ノ如クニ大變ニ

歳入歳出ガ増加ニナリマシテニ就キマシテ證書ノ枚數等ガ非常ナ増加ニナリ

マシテ試ニ明治二十六年度ノ決算ニ就キマシテ證書ノ枚數ヲ申上ゲマスト云

フト五百八十一万九千四百五十五枚デアリマシタノデアリマスガ、此度歳入歳

出等ノ増加ニ附キマシテ是ガ殆ド倍位ニ證書ノ數等ガナリマスカラ此要求ヲ

致シマシテ次第デゴザイマス、費用ハ九箇月分ヲ積算シテゴザイマス、是ハ

二十九年年度ノ決算書ノ検査院ニ廻リマスノガ七月デゴザイマスカラ九箇月分

請求致シマス、次ノ年度カラハ十二箇月分ヲ請求スルコトニナリマス

○山脇玄君 一寸質問致シマスガ、唯今ノ検査官ノ増員カラ生ズル費用ト云

フモノハ會計検査院法ノ改正カラ生ズル費用ト存シマス、今日唯今議了ニ爲

リマシテ臺灣ノ支廳デゴザイマスガ、アノ方ノ増員ノ費用ト云フモノハ別ニ

要ラヌ御考デゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今御決議ニ爲リマシテ臺灣ノハマダ衆議院デ可

決ニ爲リマセヌカラシテ豫算ハ提出シテゴザイマセヌ

○山脇玄君 アレガ衆議院デ可決ニ爲リマスルトアノ方ハ別ニ御出シニナル

御考デゴザイマスカ

○政府委員(阪谷芳郎君) 是ハ支出ガ止ムヲ得マセヌニ依ッテ此アトノ議會

ニ要求致シマス積デゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 決ヲ採リマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請

ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、豫算ト云フ表題ヲ問題ニ供

シマス

豫算

明治二十九年年度歳入歳出追加額ヲ各貳萬九千九拾七圓八拾錢貳厘ト定ム其款

項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ別ニ御異議ハナイト認メマシテ原案ニ決シ

マス、次ニ近衛公爵ヨリ此明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案ノ辛號日本

勸業銀行ノ設立準備ニ關スルト云フ豫算デゴザイマス、之ヲ議事日程ヲ變更

シテ議スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御異議ナイト認メマシテ議事日程變更ニナリマ

ス

○公爵近衛篤磨君 是ハ至ッテ簡單デゴザイマスカラ此席デ申上ゲマスルガ

此豫算ハ唯今議長ノ言ハレマシタ通勸業銀行設立ノ費用デアリマス、既ニア

ノ法案ハ衆議院ニ於テ當院ノ修正ニ同意シマシタ以上ハ無論是ハ必要ナ費用

デゴザイマスカラシテ委員會ニ於キマシテハ可決致シマシタ、此段御報告申

シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是ハ矢張全部ヲ問題ニ供シマシテ朗讀ハ省略致

シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス 以下)

歲出經常部

大藏省所管

第一款 大藏本省 金五千九拾四圓七拾七錢

第一項 俸給及諸給 金貳千六百八拾八圓

第二項 廳費 金六百參拾九圓八拾九錢五厘

第八項 旅費 金八百六圓

第九項 雜給及雜費 金九百六拾圓八拾七錢五厘

歲出臨時部

大藏省所管

第十一款 日本勸業銀行設立準備費 金六千參百五拾六圓七拾八錢五厘

第一項 日本勸業銀行設立準備費 金六千參百五拾六圓七拾八錢五厘

歲出總計金壹萬四千四百五拾壹圓五拾五錢五厘

歲入經常部

第四款 雜收入 金貳拾六圓八拾八錢

第五項 官吏遺族扶助法納金 金貳拾六圓八拾八錢

歳入臨時部

第六款 製艦費補足金 金貳百六拾八圓八拾錢

第二項 納付金 金貳百六拾八圓八拾錢

第九款 前年度繰入金 金壹萬千五百五拾五圓八拾七錢五厘

第一項 前年度繰入金 金壹萬千五百五拾五圓八拾七錢五厘

歳入臨時部合計金壹萬千四百貳拾四圓六拾七錢五厘

歳入總計金壹萬千四百五拾壹圓五拾五錢五厘

○議長(侯爵須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、表題ヲ問題ニ供シマス

豫算

明治二十九年歳入歳出追加額ヲ各壹萬千四百五拾壹圓五拾五錢五厘ト定

共款項ノ金額ハ別冊歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

(異議ナシト述フル者アリ)

是ハ御異議ガナイト認メマシテ原案ニ決シマス、東京府下郡廢置法律案、香

川縣下郡廢置法律案、兩方共政府提出衆議院送付デゴザイマス第一讀會ノ續

ヲ束ネテ開キマス、特別委員長報告

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 委員會ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此東京府下郡廢置法律案デ

ゴザイマスガ、此方ハ御覽ニナリマシタ通、南豐島郡トゴザンシタノヲ豐

多摩郡ト斯ウ文字ヲ改メタバカリデゴザイマス、是ハ委員會ニ於キマシテ一

人ノ反對等モ無シ、又質問等モナシ、全會一致ヲ以テ決シマシタノデゴザイ

マス、是ハ極ク簡單ナモノデゴザンスカラシテ讀會ヲ省略シテサウシテ問題

ニ付セラレンコトヲ希望致シマス、然ル所此度ノ香川縣ノ郡廢置法律案ニ於

キマシテハ昨日ハ委員ノ缺席ガ三名ゴザイマシテ六名デ決シマシタ、然ル所

此香川縣ノ方ニ於キマシテハ丁度島根縣ト同シヤウニ大分是ハ喧マシイ問題

デゴザイマス、ソレ故ドウゾ諸君ニモ最モ御注意ヲ願ヒ、且ツ御明斷ヲ煩シ

タイト思ヒマス、ソレデ委員中ニ於キマシテ此衆議院案ノ修正ノ通此朱字ノ

如ニナリマスルコトヲ賛成ヲセラル、諸君ノ御説ヲ承リマスルト云フト此衆

議院ノ修正案ト申シマスルモノハ是ハ全ク現今ノ行政區畫其儘ノ如クニ是ハ

シタモノデアアル、所ガ政府ハ此現今ノ行政區畫ヲ變更シマシテ此三木郡ヲ割

キマシテ山田郡ニ附ケ、サウシテ香川郡ヲ獨立サセヤウトスルノガ、マア

政府ノ案デゴザイマス、ソレデ從來ノ行政區畫ヲ殊更ニ斯ウ變更スル必要ハ

ナイト云フノガ一ノ理由ノヤウニ承ッテ居ル、又モウ一ツノ理由ハ此現行ノ

儘ニ致シテ置キマスルト云フト各郡ノ人口ガ平均ヲシ、又資力モ平衡ヲ保ッテ

行クト云フコトデゴザイマス、若シ政府案ノ如クニシマスルト云フト三木、

山田ノ如キハ人口ガ七萬餘ニキヤアナラヌ、サウシマスルト云フト他ハ大

概十一万以上ノ平均ニナッテ居リマスルモノ故ニ第一均一ヲ缺クノ恐ガアル
ト云フノガ一ツノ理由デアアル、又モウ一ツノ理由ハ此政府案ノ如クニシマス
ルト云フト第一郡役所ヲ一ツ増サナケレバナラヌ、又郡長ヲ置カナケレバナ
ラヌ、是ガタメニ經費ヲ要スルト云フノガ一ツノ理由デアアル、ソレカラ今一
ツノ理由ト申シマスルモノハ此衆議院ノ修正ト申シマスルモノハ地方ノ人民
ガ數年ヨリ希望ヲシテ居ルコトデアアルサウデゴザイマス、ソレ故斯ノ如クナ
リマスレバ其地方ノ人民モ誠ニ平穩ニ居ラレル、ソレデ地方人民ガ第一ノ希
望デアアルカラト云フコトガ即チ此衆議院ノ修正ヲ賛成スル理由デアリマス、
然ル所此衆議院ノ修正案ニ附キマシテ此政府案ト申シマスルモノハ全ク反對
ヲシテ居ルノデ、政府委員ノ其反對ヲ申シマスル所ヲ承ッテ見マスルト云フト
餘リ此衆議院ノ修正ノ如クニナリマスルト云フト行政區畫ガ廣濶ニ過ギテドウ
モ統一ニ誠ニ如何デアラウカト云フ考ガ第一アル、殊ニ此三木、山田ハ舊來
ヨリ同藩デゴザイマシテ人情風俗モ全ク同一デアアル、ソレ故互ニ離レルコト
ヲ欲シナイト云フノガ民情デアアルト云フノガ政府委員ガ一ノ主張スル理由デ
アル、又一ツニハ此衆議院ノ修正ト云フモノハ從來カラノ行政區畫ト云フコ
トデアアルケレドモ併ナガラ是ハ明治十四年以前ト云フモノハ矢張政府案ノ如
ク黒字ノヤウデアラト云フ、ソレ故是ハ十四年以後ニ斯ノ如クナッテ居ル
ノダカラシテ何モ此極ク古イカラト云フコトデアアリマセスト云フノガ政府
委員ガ反對ヲ爲ス一ツノ理由デアアル、又モウ一ツハ政府ガ之ヲ提出致シマシ
タノハ前ニ段々是マデ其前々ノ知事ニモ照會ヲ致シマシタ所ガ、前々バカリ
デハナイ、當今ノ知事ニモ照會ヲシタ所ガ何レモ知事カラ此原案ノ如クシテ
欲シイト云フ上申ガ出テ居ルサウデゴザイマス、又ソレノミナラズ既ニ此第
一讀會ノ時分ニ度此衆議院ノ修正ノ如クニシテ政府ガ衆議院ニ提出シマシ
タ時分ニ衆議院ノ特別委員ニ於テ度今度政府デ出シタ案ノ如ク修正ヲ致シ
タサウデゴザイマス、ソレ等ノ理由ヲ以テマシテ今度政府ハ斯ノ如ク出シタ
ト云フコトデアリマス、雙方斯ノ如ク先ツ意見ガ違ッテ居リマシタガ併シ雙方
ノ議論モ十分盡キマシタ後採決ニ付シマシタラバ一人此政府案ニ同意致シマ
シテ他ハ殘ラズ此衆議院修正ノ如ク賛成ヲ致シマシタ、即チソレ故此衆議院
ノ修正ノ如ク委員會ハ多數ヲ以テ決シマシタカラ是ヲ御報道ニ及ビマス、併
ナガラ此利害得失ハ餘程アルコトダラウト存シマスルシ、又運動モ非常ニア
ルヤウニ覺エテ居リマスカラドウゾ諸君ノ是ハ御明斷ヲ仰ギタイト思ヒマス
○田中芳男君 一寸委員長ニ質問ガアリマス、唯今委員長カラシテ詳シク御
述ニナリマシタ行政區畫ノ事モ分リマシタガ此度ノ香川縣ノ方ハ一向電報モ
參リマセヌカラ委シクハ存ジマセヌガ、併シ唯今委員會ノ模様ヲ承ッタ時ニ
ハ郡名ノ事ニ至ッテハ何モ論ガナカッタト云フヤウニ心得マスガ、全體讀岐ノ
香川縣ニ於キマシテハ此香川郡ト云フモノハ古來有名ナ郡ノヤウニ覺エマス
ガ、昔カラ歴史ノ附イタ郡名ヲ無クシテ新規ニ思ヒ附ヒテ兩方ノ郡名ヲ合セ、
例ヘバ三野郡ト豐田郡トヲ合併シテ三豐郡ト云フ名ヲ附ケヤウト云フトハ

歴史上面白クナイ事ト思ヒマスガ、勿論其邊モ御研究ガアツタコト、思ヒマスカヲ其邊ヲ御尋フシマス、今澤山ノ郡ヲ以テ合併スル場合ニ必ズ其名ノ一字ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ、三野ト豐田ト其他ノ郡ヲ合併スルトキニ必ズ三野ノ三ヲ入レナケレバナラヌト云フヤウナコトハ隨分窮屈ナ考カト思フ、如何トナレバ農商務省トテモ農商工ガ合併シテ居ルケレドモ矢張名ハ農商務省デ分ル、何モ悉ク合ハセナケレバナラヌト云フコトハナカラウト思ヒマス、所謂貴族院ト言フテモ我々見タヤウナ貴族デナイ者モ這入ツテ居ラレマスルカラ、名ハ強チ窮屈ニシナクテモ宜カラウト思ヒマスガ、其邊ノ御研究ハ必ズアツタコトト思ヒマスカラ一應伺ヒマス

○村田保君 御答ヲ致シマスルガ名ニ就イテハ格別委員會デハ此名ヲ附ケルハ惡ルイ宜イト云フ論ハゴザイマセヌデアリマシタ、併ナガラ今日ハ郡廢置ガ多々ゴザイマス、サウシテ各縣大概二郡合スレバ兩方ノ名ヲ持ツテ來ルヤウニナツテ居リマス、中ニハ熊本縣ノ菊池郡ノヤウナ例モゴザイマスルガ、其他ノ法案ハ田中君ガ能ク御覽ニナツタラドテラガ多イト云フコトハ分リマセウ、是デ御答ハ盡キタラウト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 私ハ政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、委員會デハ郡名ノ事ニ就イテハ別ニ研究ガナカッタト云フコトデゴザイマスカラ政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、政府案トシテ出マシタ此郡名ノ改メタノハ大概二字ノ名ノヤウニアル、併ナガラ衆議院デハツレバ三文字ニ改メタノガ澤山ニアリマス、元來國名郡名ト云フモノハ會テ日本ノ國郡ヲ名ツケル時分ニ非常ニ長イノモ有リ非常ニ短イノモ有ツタノモ二文字ニ名ツケタト思フ、例ヘバ「トホトウミ」ト云フヤウナ長イ名ノ所モツレバ「一文字ニシテアリマス、又紀ノ國津ノ國ト云フヤウナノハ非常ニ短イ名デアアルガツレモ矢張二文字ニシテアル、總テサウ云フ譯デ國郡ノ名ハ古ヘカラ二文字ニシテアル、ソレ故ニ札幌、ノツポロト云フ如ク近來デモ二文字ニ縮メテアリマス、尤モ茲ニ一言辯シテ置カナケレバナラヌノハ東西南北杯ガ郡名ノ上ニ附クノハ是ハ別段デアラテ、南多摩トカ北多摩トカ又ハ中ト云フ字ノ附ク所ヤ或ハ上下ト云フ字ヲ冠シテ上都賀トカ下都賀ト云フ場合ニハ三文字ノ所モ有リマセウ、ケレドモ此上下トカ東西南北トカ云フモノヲ特別トスレバ其他ハ總テ二文字ニナツテ居リマス、然ルニ衆議院デハ此案ノミナラズ其他ニモ往々三文字ノ郡名ガ出來マシタガ、政府デハ初ハ必ズ二文字ニシテアツタカト思ヒマスガ果シテ左様デアリマスカ、且ツ又衆議院デ三文字ニ修正スルノハ御構ヒナイト云フ政府ノ御考デアアルカ一應伺ヒタイ

○政府委員(木内重四郎君) 御答ヲ致シマス、郡名國名等ハ從前ノ例ハ二字ヲ用フルノハ御説ノ通デアリマセウ、併ナガラ郡ノ廢置ヲ行フニ當ツテハ古來有名ノ郡名トカ或ハ非常ニ大キナ郡デアアルト云フナラバ共有名ナ郡若クハ大キイ郡ノ名ヲ取リマスルガ、資力面積等ガ匹敵シテ居ル所ナラバ其一方ノ名ノミヲ撰ブト云フ譯ニハ參リマセヌ、是ハ民心ニモ關係スルコトデアリマ

スルデ成ルベク兩郡ノ名ヲ折衷スルト云フコトニ致シタノデゴザイマス、而シテ已ムヲ得ズ三字名ヲ使ツタコトモアリマス、即チ東西南北上中下等ノ附ク場合デナシニ三ツノ文字ヲ使ツタコトモゴザイマス、即チ先日兩院ヲ通過シマシタ、佐賀縣ノ三養基郡ノ如キモノモ有リマス、是ハ基肆郡養父郡三根郡ノ三ト養ト基ト三ツヲ合シテ三養基ト致シマシタ、是等ガ三字ヲ使ツタ例デアリマス

○子爵曾我祐準君 ツレハ政府案デゴザイマスカ
 ○政府委員(木内重四郎君) 政府案デゴザイマス、政府案デ其通ニ兩院ヲ通過致シマシタ、ツレカラ衆議院デ今度大木川ト云フ郡名ヲ附ケラレマシタ、隨分妙ナ名稱デハゴザイマスガ政府カラ出シタ大川郡ト云フノヲ大木川ト修正ニナリマシタ、ソレデ今度兩院ヲ通過シマシタウチノ三字名ハ佐賀縣ノ三養基郡ダケト記憶致シテ居リマス

○村田保君 ドウゾ此案ハ東京府カラ致シテ別ニ御採決ヲ願ヒタイ、東京府ノ方ハ讀會省略ヲ願ヒマス
 ○柴原和君 贊成

○子爵板倉勝達君 讀會省略ニ贊成
 ○伯爵大原重朝君 贊成
 ○金澤松右衛門君 贊成
 ○瀧口吉良君 贊成
 ○渡邊甚吉君 贊成
 ○南郷茂光君 贊成
 ○子爵堤功長君 贊成
 ○水之江浩君 贊成

(此他「贊成」ト呼フ者アリ)
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 讀會省略ノ村田君ノ請求ニハ定規ノ贊成ガゴザイマス、三讀會省略ノ説ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 三分、二以上デゴザイマス、讀會省略ニナリマシタ
 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
 東京府武藏國南豐郡及東多摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ多摩郡ヲ置ク

附則
 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス
 ○議長(侯爵須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ香川縣ノ郡廢置法律案ニ移リマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ香川縣ノ郡廢置法律案ニ移リマス

(政府委員木内重四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木内重四郎君) 此衆議院修正ヲ致シマシタノハ第一期ノ議會ニ政府案トシテ提出致シマシタル所ノモノト同様デアリマス、ソレハ明治十四年以來今日マデ繼續致シテ居ル郡役所ノ區域ニ依ッテモノデゴザイマス、然ルニ三木山田兩郡ノ人民ハ從來ノ沿革及今日ノ有様ヲ述ベテ是非三木山田ノ兩郡ヲ一所ニ郡ニナルコトヲ希望スルコト云フ陳情ヲ致シテ衆議院ノ委員會ニ於テハ其陳情ヲ尤ナリトシテ修正ヲ致シマシタ、即チ今日政府案トシテ今回提出シタル如キモノニ修正ヲ致シマシタ、第二期ノ議會ニモ政府ハ其意見ヲ取りマシテ提出ヲ致シ、其後追々陳情モアリ又知事ニ照會等モ致シマシタガ、人民ノ希望スル所ハ尤デアアルカラ三木山田ハ一郡トスルヤウニ致シタイト云フ答ガアツタニ附キマシテ第二期ト同様ナルモノヲ今日提出ヲ致シマシタ、然ルニ衆議院ノ或議員杯ハ十四年來一ツノ郡役所ノ區域ニ屬シテ別段不都合ノナカッタモノヲ殊更ニ分割スルノ必要ハナイト云フノデ此ノ如ク修正ニナリマシタ、併ナガラ行政區域、單ニ行政區域ト云フコト、自治團體トナツテ一郡トシテ仕事ヲスルトハ觀察ノ點ヲ異ニシナケレバナリマセヌト思ヒマス、多少人情風俗ガ異リマシテモ行政區畫トシテ一所ニ屬スル分ニハエライ差支ハナイコト、思ヒマス、併ナガラ共同ノ事務ヲ施行シヤウト云フニハ人情ガ相反シテハ到底十分ナコトハ出來ヌノデアリマス、此三木山田ノ兩郡ハ高松藩ノ初カラ殆ド二百餘年間一ツノ代官ニ依ッテ支配サレテ居リマシテ名ハ兩郡ニナツテ居リマスガ其實ハ一郡ノ如キ形勢デアリマス、而シテ明治八年ニ香川郡ガ置カレテ以來同シ大區デアリマシタ、明治十一年ニ郡區町村編制法ヲ施行シタトキ同シ郡役所ノ下ニナツテ居リマス、十四年ニナツテ經費節減ノタメニ縣會カラ建議ニナツテ一郡役所ヲ讚岐ノ中デ減シナケレバナラヌト云フノデ三木山田兩郡ヲ三木ハ大内寒川ニ屬シ山田ハ香川ニ屬シマシタガ、併ナガラ兩郡ノ人民ハ誠ニ民情ニ反シテ居ルカラ從前ノ通ニ復シテ貫ヒタイト云フ希望ヲ有シテ居ル、ソコデ第一期ノ議會ニハ現在ノ行政區畫通ノ案ヲ出シタ所ガ人民ガ大ニ驚イテ從來カラノ希望ノ貫徹スルヤウニ建議ヲ致シタ次第デアリマス、而シテ其實力ハ現在三郡デアレバ資力ノ大キイノヲ殊更ニナゼ分ケタカト云フ意見ノ御方モ有ラウカト思ヒマスカラ、一寸辯シテ置キマスガ大内寒川兩郡デ人口ハ九方、三木山田兩郡合セルト人口ハ七万六千有リマス、此香川郡ガ政府案ノ通ニナリマシテ、各縣ノ平均人口ハ九万二千デアリマスカラ、ソレカラ見ルト小サクハアリマスガ各郡ノ全體カラ見マスルト府縣制ヲ施行セラレナイ地方ガ多イノデアリマスガ府縣制ヲ施行セザル地方ニ於テ此度本案ヲ提出シタ儀デアリマシテ之ヲ行フ答デアリマスガ、其各郡ノ平均デハ七万四千デ即チ全國ノ平均ト假ニ見テ宜イ、然ルニ大内寒川ガ合スルト九方、三木山田ヲ合スルト七万六千デアリマスカラ全國ノ平均ヨリ超過シテ居リマス、又地價デ言ハバ大内寒川兩郡ヲ合スルト三百二十二万ニ爲リマス、ソレカラ三木山田ヲ合スルト三百九十二万ニ爲リマス、

ソレカラ府縣制ヲ施行セザル地方ノ平均地價ハ三百万圓デアリマス、サウスルト平均シタ地價ヨリモ宜イ、又面積カラ申シテモ大内寒川デ二十一万里、三木山田デ十三万里、全國ノ府縣制ヲ施行セザル府縣ノ平均ハ三十二万里デアリマスカラ面積ハ少シ少イカモ知レマセヌガ香川縣各縣ノ平均ヲ……平均ト申シマス少シ困リマスガ三野豐田ノヤウナ大キナ郡ガ其面積ハ二十二万里、ソレカラ那珂多度ノ兩郡ヲ合スルト十一万里、ソレカラ阿野鷺足ノ兩郡ヲ合スルト二十四万里、ソコデ今ノ大内寒川デ二十一万里、三木山田デ十三万里デアアルカラ郡ノ中デ小サナ面積デハナイ、斯ノ如ク人口ト云ヒ地價ト云ヒ面積ト云ヒ政府案ノ通デ決シテ不都合ナコトハナイノデアリマス、管ニ不都合ハナイノミナラズ二百餘年間一代官ノ下ニ支配セラレ明治八年以來依然此同一ノ行政區畫ニ屬シ、ソレカラ十四年コノカダ經費節減ノタメニ變ツタガ從來ノ沿革ハ決シテ沒スベキモノデハナイ、又縣下ノ事情ノ如キハ衆議院ノ修正案ガ通ツタコトヲ聞イテ三木郡ノ町村長ナドハ集會ヲ致シテ非常ニ何か心配ヲ致シテ居ルト云フコトデ、若シ衆議院ノ修正案ノ通ニナリマスルトナカク、苦情ヲ起スコトニナリサウナ様子デアリマス、故ニ政府案ノ通ニ御贊成アテントトヲ希望シマス

○關田可通君 政府委員ニ御尋ラシマス、此衆議院ノ修正ノ香川縣ノ讚岐ノ大内寒川三木ト云フ三郡ヲ廢シテ一郡ヲ置カウト云フコトニ付テハ行政上是マデノ行政區畫デドシナ苦情ガアリマシタカ、又モウ一ツ御尋ラスルノハ郡名ハ能ウ覺エテ居リマセヌガ政府委員ハ此間貴族院ガ修正ヲシヤウト云フト……衆議院ノ修正同付ニナツテ居ル原案ニ貴族院デ修正ヲシヤウト云フト政府委員ニ於テハ最早會期ガ切迫ヲシテ居ル云々ト言ツタ場合ガアリマス、今ハ會期ノ切迫ドコロデハナイ大ノ切迫ノ場合ニサウ云フコトヲ言フハ如何デアリマスカ、ドウシテモ政府案ノ通ニシナケレバナラヌノデアリマスカ、又從來一郡役所ノ下ニ在ッテ今マデドシナ苦情ガアリマシタカ、ソレヲ御調ベニナリマシタカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(木内重四郎君) 御答ヲ致シマス、從來大内寒川三木三郡ガ一ツノ郡役所ノ下ニ在リマシテ、エライ苦情ト云フモノハナイノデアリマスガ、ソレハ最前私カラ申上ゲタト思フテ居リマス、行政區域ト云フコト、自治ノ區域トハ狀況ノ點ヲ異ニシナケレバナラヌト思ヒマス、自治ノ區域デアルト共同シテ一個ノ團體トシテ事業ヲ經營シナケレバナラヌ、ソレニハ人情ガ一致シテ居ラヌト到底完全ナコトハ出來ヌ、管ニ完全ナ事業ガ出來ヌノミナラズ非常ニ紛擾ヲ起スコト、思ヒマス、併ナガラ一人ノ郡長ノ下ニ支配サル、ト云フコトナラ必シモ利害ノ關係ヲ一ニシテ居ラナイ、大ナル差支モナイ、ソレカラ前日ハ名稱ノ事ニ附イテ申上ゲマシタノハ福岡縣ト思ヒマスガ、ソレハ衆議院デ通過シマシテ貴族院デソレデ適當ト……殊更ニ名稱ノタメニ會期切迫ノ今日衆議院ニ回付スル必要ガ無イト思ヒマシタカ原案通ニ御贊成ヲ希望シマシタノデアリマス、然ルニ此香川縣ノ方ノハ衆議院ノ修正通ニナリ

マズレバ非常ニ民心ニ影響ヲ及スノミナラズ將來ノ自治ニモ關係ヲ及シマス
カラ、會期切迫デアアリマスガ衆議院ノ修正通ニ貴族院ヲ御同意ニナリマシ
テハ實際ニ於テ適當セヌト思ヒマスカラ政府提出ノ案ニ御賛成ヲ希望致シマ
シタノデアリマス

○安場保和君 本員ハ此案ニ附キマシテハ修正ノ意見ヲ持ッテ居リマス、其
事由ハ即チ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第二讀會ニ移ッテカラニナサツテハ如何ア……
(安場保和君「ツレヂヤア……」ト述フ)

第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○村田保君 議事日程ヲ變更サレテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ

○安場保和君 賛成

○柴原和君 賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○子爵京極高典君 賛成

○子爵土方雄志君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ノ變更ニハ別段御異議ハゴザイマセヌ
カ
(「異議ナシ」ト呼フ者數名アリ)

然ラバ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開キマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

香川縣讚岐國大内郡寒川郡及三木郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大木川郡ヲ置ク

香川縣讚岐國山田郡及香川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ香山郡ヲ置ク

香川縣讚岐國阿野郡及鶴足郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ綾歌郡ヲ置ク
香川縣讚岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三野郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三豐郡ヲ置ク

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス
○安場保和君 本員ハ此議案ハ即チ政府提出案ノ通ニ一字一句モ變ヘズニ其
通ノ修正ヲ提出致シマス、其理由ハ唯今政府委員ヨリ續々述ベラレマシタテ
他ニ新ニ申述ベル程ノ必要モナイト考ヘマスガ併ナガラ是ニ就キマシテハ段
段委員長ノ報告ヲ承ツテ見マスレバ委員會デモ種々ノ反對論モアツタサウデ
アリマシテ就キマシテハ一言此會期切迫ノ唯今ニナリマシテ斯ノ如キ修正案
ヲ提出スルノ理由ノ要領ヲ摘ンテ陳述致シマスレバ是ハ第一此郡ノ廢合等ハ

土地ノ便否人心ノ調和スルカセヌカト云フコトガ最モ根本ト爲ルベキモノデ
アリマシテ且其由テ來ル所ノモノハ從來ヨリ一藩治ノ下ニ立ッテ數百年來一
行政區域テ治メ來ツタ、僅カ明治二十四年ノ頃ニ至リテ行政區畫且地方稅ノ都
合ニ依リマシテ分離シテ居マシタケレドモ此節愈々郡ヲ自治體ト云フ所ニ定
メラレテサウシテ此郡ノ廢合ヲ計ルト云フ今日ニナリマシテハ行政ノ便否ハ
固ヨリノコト自治團體ニ就イテ人情ノ能ク合スルヤ否ヤト云フコトハ最モ要
點デアリマスレバ總テノコト政府委員ヨリモ續々述ベラレタ通ノ次第アリ
マスレバ是ハ衆議院ノ修正ガ其當ヲ失シテ居ルモノト確認致シマスニ依ッテ
即チ政府案ノ通ノ修正說ヲ更ニ提出致シマシテ諸君ノ御協賛ヲ請ヒタイト存
シマス

○松本鼎君 賛成

○柴原和君 發言ヲ求ム

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 一寸暫ク、賛成ガ未ダ成立マセヌ、少シ御待下
サイ

○柴原和君 成立ツト往ケマセヌカラ成立チマセヌヤウニ之ヲ止メル意見ヲ
持ッテ居ルノデアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 成立テカラ御演說ニナツテ宜シイ

○子爵本莊壽巨君 賛成

○南御茂光君 賛成

○小原重哉君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵岡部長職君 賛成

○子爵鳥居忠文君 賛成

○子爵土方雄志君 賛成

○野崎武吉郎君 賛成

○辻新次君 賛成

○子爵堀田正養君 賛成

○武井守正君 賛成

○子爵唐橋在正君 賛成

○子爵一柳末徳君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○山脇玄君 賛成

○子爵舟橋遂賢君 賛成

○森岡昌純君 賛成

○周布公平君 賛成

○子爵平松時厚君 賛成

○子爵井伊直安君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 安場君ノ修正說ニハ定規ノ賛成ガゴザイマシテ

議場ノ問題ト爲リマシタ、柴原君

(柴原和君演壇ニ登ル)

○柴原和君 諸君モウ會期モ僅ナ時間ニナリマシテ本員ハ沈黙ヲ守ラウト存
シマシタケレドモ唯今政府委員ノ大變誤謬ノ演説ガゴザイマシタ、又安場君
ノ反對ノ御演説ガゴザリマシタ、デ私ハ此即チ特別委員デゴザイマス此誤謬
ヲ辯シテ委員長ノ唯今ノ報告ノ通ノコトニ贊成ヲ求ムル者デガス、先ツ安場
君ノ申サレマシタコトヲ聽キマシテハ甚ダ感服ヲセヌノデス、流石ハドウモ
長ク知事ヲ致サレマシタ頁二千石名縣令ト謂ハレタ御方ノコトデスカラ大變
贊成ヲシタイガ其言ニ曰ク即チ此郡ノ廢合ト云フヤウナコトハ土地ノ便否ニ
依リ又人心ノ調和ヲ計ル又一般ノ行政區畫ヲ長ク續イテ其習慣ヲ守ルヤウニ
ト云フ御説デガス、無論ソレハ誠ニ御名説デガス所ガ獨リ奈何セン是ハサウ
デナイ、是ハ成程其歌人ハ居ナガラニシテ名所ヲ知ル即チ頁二千石ハ自分ノ
縣バカリデナク外ノ縣ノコトマデモ御知リデアリマセウケレドモ併シ是ハ少
シ實地ヲ御知リナサラヌ御論ト考ヘマス如何トナレバ土地ノ便否ト云フ所ニ
ナルト即チ政府案ハ負ヲ取ル土地ノ便否ハ即チ衆議院ノ修正案ガ即チ土地ノ
便否ヲ得テ居ル、如何トナレバ即チ是ハ即チ香川縣ト申スモハ東南ニ阿波
ノ國北ノ海岸デゴザイマシテツレカラ山ト云フ山、川ト云フ川モ無ク、平坦
ニナテ居ル土地デゴザイマシテ土地ノ便否ハ衆議院ノ議案通テ便否ハ誠ニ
宜イ、否ガ宜イト云フデハ可笑シイガ便宜イ、又人心ノ調和ト云フコト是
モ亦大間違イ、人心ノ調和ハ政府案ノ通ニナレバ保タレヌ或ハ政府ハ一二ノ
人民ガ内務省ノ門ヘ願ヒ出タノヲツレテ輕卒ニモ採用シタノカハ知レマセヌ
ガ此即チ三木郡ト云フモノハ寒川郡トハ合併ガシタイ、大内郡トモ合併シタ
イト云フヤウナコトハ始終申出テ居ルノデアリマス且ツ又茲ニ請願書ガ斯ニ
ナニ十何通ト云フモノガ有リマス私ハ請願委員デアリマスガ是ハ皆政府案ヲ
毀シテ居ル政府案ノ通ニナテハ困ルト云フテ出テ居ルヤウナコトデアリマ
シテ誠ニ心ノ調和ヲ計ルニハ恐クハ矢張衆議院ノ議案ノ方ガ調和ヲ計ルコト
ニハ近イト考ヘマス、又一藩政ノ下ニアテ行政區畫ヲ同シウスルト云フ御
説デゴザイマシタガ先刻政府委員モ仰セラレタガ是モ誤リ、政府委員ノ誤謬
ヲ辯シマス、如何トナレバ此三木山田ト云フモノハ舊藩ノ時分ニハ一管轄ノ
區デアアテ外ハ一管轄ノ内ニナイ、飛デモナイ誤謬モ亦甚シイ即チ是ハ今ノ
松平伯爵前ノ高松ノ舊藩ノ下ニ在ッテ天領ト云フモノハ些トモ無イ、各藩天
領ガ有ッテツレガ其中ヘ狹クテ居ッテ色々ナ紛々ナコトガアツタ高松藩ハ誠ニ
一藩政ノ下ニ在ッテ天領モ無クシテ誠ニ能藩政ヲ保ッテ居ラレタ、即チ砂糖杯
ノ名物ノ所デ其所ハ即チ三木郡モ山田郡モ大内郡モ寒川郡モ香川郡モ皆同シ
此松平伯爵ノ舊藩地ノ時分ノ一ノ領地デアアツタ、ソレヲ何ダカ誤魔化シニ三
木山田ハ一ノ藩政ノ下ニ在ッテ他ノ方ハサウデナイトサウ誤魔化シテモ本員
ハ實地ヲ知ッテ居ルカラサウハ誤魔化サレナイ

(此方ヲ御向キ下サイ)ト呼フ者アリ)

ソウチヲ向キマス、唯今安場君申サレタノハ即チ大變人心ノ調和ヲ計リ土地
ノ便否ヲ考ヘ舊藩ノ習慣ヲ守ルト斯ウ云フ所ハ誠ニ御名論デアアル御名論デア
リマスガ獨リ奈何セン歌人ハ居ナガラ名所ヲ知ルト云フ譯ニハ參ラヌデ實地
ヲ御存シナイト見エル而シテ私ハ又是カラ少シク政府委員ノ誤謬ヲ辯セネバ
チラス、或ハ政府委員ハ實地ヲ御承知ナク机上ノ上デ人民ノ言フコトヲ御聞キ
ナスツタコトデハナイカト思フ、ソコデ是ハ明治十四年以後ニ在ッテ其前ハ三
木山田ガクツ附イテ居タト言ハレタ是レ亦大變ナ間違ヒ即チ三木郡ニハ山北
山南ト二ツニ分レテ居リマス、其時ニ即チ松平伯爵ガ高松ノ藩主ノ時分ニ寒
川郡ニ大庄家ガ有リマス其大庄屋ノ手ニ三木郡ノ山北ハ屬シテ一ノ方ハ郡奉
行ノ支配ニナラテ居ツタ、是ハ二百年來變ッテ居ラヌ、ソレハ政府委員ハ御承
知デゴザイマス、左様ノモノデ舊慣ハ其通デアアル然ルニ御維新ニナラテ
ドウトナレバ即チ其唯今ノ行政區畫ノアル通大内寒川三木郡ト云フモノニハ
司農頭ト云フノガ有ツタ、司農頭ノ役所ガ出來テ此三ツ同シク支配ヲシテ山
田香川ガ高松ニ近イカラ直キニ高松カラ支配ヲシテ居ツタ、ソレガ明治八年
頃デアアツタ所ガ明治八年ニドウ云フ譯カツレハマダ研究ヲシマセヌガ三木ト
山田トクツ附イタコトガアル、ソレカラクツ附イテ十一年ニナラヌ、ソレガ即
チ府縣制發布ノ時ニ間違ッテサウナツタ今ノ三木山田ヲ合セマシタ、然ルニ
愛媛縣ノ縣會ニ於テサウ云フコトハナイドウモ二百年來ノ舊慣ヲ廢シ又御維
新以來ズツト司農頭ヲ置イテアルノヲサウ云フコトハナイ、矢張以前ノ舊慣
ノ通ガ宜イト云フノデ即チ縣會一致デ即チ現今ノ行政區畫ノ通ニナラヌノデ
アル即チ舊慣モ誠ニ其通デ、又唯今モ即チ縣會議員……愛媛縣ノ縣會議員ガ
全會一致デ其後愛媛縣カラ分割シテ香川縣ヲ置カレタ、香川縣ヲ置カレテカ
ラ今日ノ行政區畫ニナラテ居ル、ソレヲ今日政府委員ハ其邊ノコトハ餘リ御
承知ナイト見ヘテ明治十四年以前ハ斯ウデアアツタト言ハレタノハ甚ダ間違ッ
テ居ル誤謬デアリマス、ソレカラ述ベタイ事ハ澤山アリマスガ餘リ長クナリ
マスカラ時間ガゴザイマセヌカラ割愛シテ是デ止メマスガ一ツ政府ノタメニ
惜ム事ガアリマスカラ大臣ノタメニ忠告セネバナラヌ事ガアル、何故ナレバ
今日ハ即チ舊慣ニ依リ土地人口ニ依リ政府委員ハ全國ノ比較ヲ取ッテ言ハレ
マシタガ全國ノ中ニハツレハ三万戸デ郡ヲ成シテ居ルノモアリマセウガ香川
縣デハ政府案ノ通ニナレバイケナイ即チ衆議院ノ修正通テナケレバイケナ
イ、人口モ十万以上十一万以上ニナラテ居ルガ所ガ之ヲ割クト七万位ノ小サ
イ郡ニ爲ル香川縣ノ方ハ香川縣ダケ言ハネバ全國ノ比較ヲ取ルノハ甚ダ間
違ッテ居ル如キ理由ガアツテ此修正ガ出來テ居ル、殊ニ此修正ハ衆議院
ノ香川縣ノ選出、諸君モ御承知デゴザイマセウ香川縣ニ奇男子有リト唱ヘタ
ル小西甚之助君ガ……香川縣選出ノ人ガ是デハ香川縣ノ民情ニ合ハヌト云フ
所カラ修正ニナラヌノデ其修正ニナラヌノヲ今日政府委員ハ喜シデ贊成シナ
クチャナラヌ、全體政府委員ガ間違ッテ居ルノハ可笑シイ一寸二三日前ノコト
デ近ク例ヲ取ッテ言フテ見レバ千葉縣ノ安房ノ國ト云フノハ四郡有ル其四郡

(一九)

ノ中テ長狹郡ト云フノヲ政府ガ割イテ置イタ、ソレヲ衆議院デ長狹郡ハ行政區劃ノ一ノ中ニ在ルカラ是モ合セバナラヌト云フコトニテ衆議院ノ案ニ政府ガ贊成ヲシテ居ル、ソレト同シモノデアアルニ、ナント可笑シク考ヘルハ香川縣ノ事ニ於テ熱中サレテ居ルノハ何カ理由ガアルカト可笑シク考ヘル不思議ニ思フノデアアル、今日在リ來リノ郡ヲ其儘ニシヤウト云フ衆議院ノ結構ナル修正ガ出テ居ルノニソレドモ政府委員ガ執拗シテ居ルノハ甚ダイカナイ、政府ガ斯ノ如キ案ヲ出シタノガ間違ッテ居ル、是ハ知事ガドウトカト云フコトデアリマスガ當初知事ガ上申シタノハ今ノ修正案ノ通ニナッテ居ルト云フコトデアアル、然ルニ中間ニ一二人ノ人物ガ有ッテ内務省ニ行ッテ言フコトデアスウナツタト云フコトデアレハ誠ニ怪シイ事デア新ニ郡役所ヲ一ツ置イテ何ガ益ガアリマス、損ガアツテ益ハナイ土地人情ハ即チ現行ノ通デア便益モ宜シ協和モ計ッテ居ルシ二百年來ノ習慣ニ依ッテ居ルノヲ何故ニ政府ガ改メルカト云フコトガ分ラナイ、是ハ大臣ニ忠告シテ御改メナサイト言ハネバナラヌ、何故ニサウスルカ損ガアツテ益ハナイ、是ニ附イテハ郡長モ置カ

ナケレバナラヌ又郡役所ヲ置ク處ニ附イテモ沸騰ヲ生ズル、ソレヲ政府委員ガ熱中シテ固執シテ居ルノガ實ニ分ラヌ、千葉縣ノ安房ノ四郡ノ所ハ知事カラモ上申シタラウ人民カラモ言ッテラウガソレガ間違ッテ居ルヲ衆議院デア行政區畫ガ一ツダカラ今日ノ行政區畫ノ通りニスルガ宜イト云フコトデア貴族院モソレデ通ッテ居ルヲ二三日前ニ通ッテ居ルノトチットモ違ハヌ、アレニハ贊成シテコッチハ全國ノ比較杯テ取ッテ固執サレルノハ實ニ分ラナイ、餘リ長クナリマスカラ言ヒタイ事ハ澤山アリマスガ餘リ長クナリマスカラ是デ止メマセウドウカ御質問ナラ……

○田中芳男君 唯今ノハ委細分リマシタカラ其事ハ申シマセヌ、香川縣ニ於テハ香川郡ハ實ニ大切ナル郡名デアラウト考ヘマス、ソレハ止メテ仕舞ッテモ人民ノ希望ニ違ハヌノデアリマスカソレヲ伺ヒタイ

○柴原和君 香川縣ヲ止メラレマス
○田中芳男君 香川縣ハ廢シテ仕舞ヒマセヌ
○田中芳男君 香川縣ハ廢シテ仕舞ヒマセヌ
○柴原和君 ……ソレナコトハアナタニモ御似合ナサラヌコトデアリマス
○田中芳男君 固ヨリ是マデノ郡ノ合併ハ三郡ヲ一郡ニシテ……
○柴原和君 分リマセヌ、聞ヘマセヌ、郡ノ分離ヲスル上ハ……
○田中芳男君 ソレハ分リマシタガ香川郡ハ廢スルデアリマセウ
○柴原和君 廢シハシナイ、アナタノ御説ハ香川ト云フノハ香山トセズニ香川トスレバ宜イト云フ御説デアリマセウ、香川ガ無クナルト云フノハ幼稚ナル論デアアル

○田中芳男君 香川郡ハ有ルガ香川郡ト云フ名ハ無クナル名前ガ無クナル
○柴原和君 名前ガ無クナルト云フノハ皆然リ全國盡ク然リ

○田中芳男君 ソレダカラ人民ノ希望ヲ御尋スルノデアアル
○柴原和君 分リマセヌ餘リ長クナリマスカラ止シマセウ辯明シタイガ辯明スル價ガナイカラドウカ先刻申シタ通デアリマシテ衆議院ノ修正即チ村田委員長ノ報告ノヤウニナルヤウニ本員ハ飽マデ希望致シマス
(政府委員木内重四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(木内重四郎君) 極簡單ニ申述ベマス、モウヨシテモ宜シウゴザイマスガ唯今柴原君ガ大變政府委員ノ説ガ誤謬デアルトカ調査ガ疎漏デアルトカ云フ御説ガアリマシタカラ一言辯シテ置キマス、一二人ノ人ガ内務省ノ門ニ出入シタカラソレデア政府案ヲ維持スルデアラウト云フ御説ガアリマシタガ決シテサウデアハアリマセヌ、最前申シタ通衆議院ノ委員會ニ於テモ可決シ、兩郡ノ人民カラモ請願ガアリ、柴原君ノ後ニ就職シタル二人ノ知事マデモ斯ノ如クナサラナケレバナラヌト云フ上申モアル、即チ多數ノ者ノ意見ヲ容レテ政府案ヲ提出シタノデスカラ一二人ノ者ノ意見ニ依ッテデアハアリマセヌ、ソレカラ三木郡山田郡ガ二百年間一ツノ管轄ニ屬シタト云フコトニ附イテ妙ナ誤解ガアツタヤウデアゴザイマスガ高松藩ハ二木山田ノ二郡ニハ限ラヌ、讚岐ノ東ノ方十郡アツタノデス、併ナガラ高松ノ藩主松平氏ハ此十郡ヲ五ツニ分ケテ三木山田ヲ一ツノ行政區畫トシテ一ノ代官ニ依ッテ支配サセテ居タト云フコトヲ申上ゲタノデス、ソレカラ明治八年以來ドウデアアルト云フコトデアリマシタカラ一寸事實ヲ申シマスガ明治八年ニ香川縣ヲ置カレタトキ三木山田ヲ以テ一ノ大區トナシ香川郡ハ獨立シテ大區トナツタノデス、ソレカラ十一年ニ郡區町村制施行ノ時モ斯ノ如ク即チ政府案ノ如ク編成ニナッテ居ルノデス

(柴原和君) 夫ハ承知シテ居ルト述フ

併ナガラ先程サウ云フコトハナイト仰シヤツタカラ辯シテ置キマス、ソレカラ平均ヲ取ルト申サレマシタガ香川縣ノ各郡ノ平均ヲ取ッテ必ズ人口ナリ實力ナリ均一デナケレバナラヌト云フコトハ少シモナイノデス、地形民情其他各般ノ事情ヲ湊合シテ郡ヲ組成シナケレバナラヌノデスカラ外ノ三野豊田トカ或ハ阿野鶴足トカ云フモノト同シ程ノ實力ガナケレバ一郡トスルコトハ出來ヌト云フコトハ少シモ根據ノ無イ事ト思ヒマス、ソレカラ仕舞ヒ一言申上ゲタイノハ一寸御分リ悪クイカモ知レマセヌガ此地圖ニアリマスガ三木山田デス、三木郡ノ方ニ山田郡ノ飛地ガ有ル、之ヲ以テモ兩郡ヲ合シテ一トシナケレバ地形上甚ダ不都合ガアルノデス

○柴原和君 唯今ノ政府委員ノ説ニ誤謬ガアリマスカラ一言……
○議長(侯爵蜂須賀重昭君) 意見ハ既ニ御述ベニナツタノデス、安場君ノ修正ハ即チ政府案ノ通ニ復活ヲスルト云フ修正デアリマス、之ニ就イテ決ヲ採リマス
○子爵土方雄志君 一寸伺ヒマスガ安場君ノ説ヲ御採リニナルノデスカ
○議長(侯爵蜂須賀重昭君) サウデス、安場君ノ修正ニ就イテ決ヲ採ルノデ

ス、安場君ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵土方雄志君 一寸伺ヒマスガ安場君ノ説ヲ御採リニナルノデスカ
○議長(侯爵蜂須賀重昭君) サウデス、安場君ノ修正ニ就イテ決ヲ採ルノデ

ス、安場君ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵土方雄志君 一寸伺ヒマスガ安場君ノ説ヲ御採リニナルノデスカ
○議長(侯爵蜂須賀重昭君) サウデス、安場君ノ修正ニ就イテ決ヲ採ルノデ

起立者

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス
○子爵京極高典君 異議ヲ申立テマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス
〔「多數々々」ト呼フ者多ク「氏名點呼ニ及バズ」
「氏名點呼ノ必要ナシ」ニナレバ宜シイノデス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御靜ニ願ヒマス、ソレハ御異議ヲ御取消シ
○子爵京極高典君 氏名點呼ヲ申立テマシタノニドウ云フ譯デ行ハレマセヌ
カ

○男爵伊達宗敦君 現在大多數ノコトデアリマスシ、モウ會期モ一時間カ一
時間半シカアリマセヌカラドウゾ御異議ヲ御取消ニナルコトヲ希望致シマ
ス

〔贊成々々〕取消ヲ願ヒマスト呼フ者アリ〕
○子爵京極高典君 取消シマセヌ
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 氏名點呼ヲ行ヒマス
〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今内閣總理大臣臨時代理ヨリ 詔勅ヲ受取リ
マシタニ依ッテ御報告ニ及ビマス
朕三月二十八日迄二日間帝國議會會期ノ延長ヲ命ス
御名 御璽
明治二十九年三月二十六日

……氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數百三十、可トスル議員七
十五、否トスル議員五十五、安場君ノ修正ノ通ニ決シマシタ

○伯爵大原重朝君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ……
○村田保君 贊成
○男爵西五辻文仲君 贊成

○伯爵冷泉爲紀君 贊成
○子爵堀田正養君 議長、唯今大原君カラノガハ此香川縣郡廢置法律案ノ三
讀會ヲ議事日程ヲ變更シテ直ニ開キタイト云フ動議デアリマスカ、開エマセ
ヌカッタカラ伺ヒマス

○伯爵大原重朝君 左様デゴザイマス
○子爵堀田正養君 ソレデハ贊成シマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ
大原伯爵ノ動議ハ別ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

各大臣 副署
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ議事日程變更ニ決シマス、直ニ第三讀會
ヲ開キマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕
香川縣讚岐國大内郡及寒川郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ大川郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三木郡及山田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ木田郡ヲ置ク
香川縣讚岐國阿野郡及鶴足郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ綾歌郡ヲ置ク
香川縣讚岐國那珂郡及多度郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ仲多度郡ヲ置ク
香川縣讚岐國三野郡及豐田郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三豐郡ヲ置ク

附則
此ノ法律ハ明治二十年四月一日ヨリ施行ス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 即チ第二讀會ノ決議案總テ政府案ノ通ニナリマ
ス、……原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ臺灣總督府所屬雇員ニ
官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

〔箕作麟祥君演壇ニ登ル〕
○箕作麟祥君 臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用ス
ルノ法律案特別委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報告ニ及ビマス、是ハ極ク僅
ノ三箇條程カゴザイマセヌ至ッテ短イ法律案デゴザイマス、又事柄モ至ッテ
見易イコトデゴザイマス唯今日マデ臺灣ニ參ッテ居ッテ事務ヲ扱ッテ居ル人達
ハ僅ニ文官デハ政府委員トシテ此所ニ居ラル、水野君位ノモノデアトハ其職
務ハ立派ナ高等官モト下デモ判任以上ノ職ヲ執ッテ居リナガラ其實ハ皆雇員
デアル、知事トカ何トカ云フ大層ナ名ハ出テ居リマスガ併シ内國ノ知事ト違ッ
テ矢張雇員デアリマス、サウ云フ人達ニ此恩給ヲ給與スルコトヲ致シマセヌ
ト云フト其實官吏ト同様ナ事ヲ致シテ加之内地ニ居リマス官吏ヨリモソツト
骨ノ折レル役ヲシテ居リナガラ恩給ヲ受ケルコトガ出來マセヌノハ甚ダ其人
ノタメニ餘程氣ノ毒ナコトデアアッテ從ッテ人情トシテ其職ニ安ンズルコトガ出
來ヌト云フコトガアリマス、ソレカラ又其臺灣ニ參ッテ居ル人達ガ即チ事務ヲ
行ッテ居ル雇員ガ賊徒ノ毒手ニ罹リマシタリ或ハ瘴癘ノ惡氣ニ襲ハレタリ致
シテ誠ニ氣ノ毒千萬ナル最期ヲ遂ゲ或ハ黃泉ノ客ト爲ルコトガゴザイマシタ
ナラバ其遺族ト云フモノガ矢張扶助料ト云フモノヲ受ケル恩典ニ浴スルコト
ガ出來ナイノデアアル、如何トナレバ遺族扶助料ヲ受ケマスルノハ官吏ノ遺族
ニ適用スルモノデアリマス故ニ先程述べマシタ通雇員タル本人ガ雇員デハア
ルケレドモ官吏同様恩給法ノ利益ヲ受ケルコトガ必要デアアルガ如クニ先ツ此
不幸ナル運命ニ遭フ所ノ雇員ノ遺族ニモ同様ニ扶助料ヲ受ケルコト云フ恩惠ヲ
與ヘルコトハ今日ノ情勢カラ甚ダ必要ナ事デアアル斯ウ云フ所ノ趣意ヲ以テ此

貴族院議事速記録第四十三號 明治二十九年三月二十六日

議長ノ報告 議事日程變更ノ動議 香川縣下郡廢置法律案 第三讀會
臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案 第一讀會ノ續

六五二

案ヲ作ラレタコトガ明白デアリマス、モウ一ツ此案ノ別ノ趣意ハ通例ノ官吏デアリマスト俸給ト恩給ト一緒ニ取レヌト云フコトハ無論是ハ御承知ノ通ノ管デアアル、即チ俸給ヲ取ルヤウニナレバ恩給ノ權利ハ停止スルノデゴザイマス、此臺灣ニ參ッテ居ル雇員ニ於テハ、理由ハ色々アリマセウガ一種ノ都合ガアリマシテ例ヘバ是マデ恩給ヲ受ケテ居ル人ガ參ッテ居リマスト云フト其恩給額ダケヲ俸給ノ中ニ見込シテアルト云フ有様ニナッテ居ル、例ヘバ五十圓ノ恩給ヲ受ケル人ガ有ルト云フト恩給ノナイ人ナラバ二百圓遣ルベキノヲ五十圓ヲ見込シテ其人ニハ五十圓シカ遣ラヌト云フコトニナッテ居ル、實際サウ云フコトニシテ居ル、ソレ等ガ愈々此法律ニアリマス通臺灣總督府條例ト云フモノガ出來マシテ實施ニナリマストサウ云フ事ハ無クナル、立派ナ官吏ニナリマス、ソレマデノ間ハ右ノ次第デアリマスカラ恩給ト俸給ト竝ビ取レルヤウナコトニシテヤラナケレバ甚ダ差支ヘル、併ナガラ其利ノコトノミヤッテハ差引勘定餘リ旨マ過ル、都合ガ宜過ルカラシテ第二條ニ於テ雇員トシテ勤務シタル年月數ハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ニ定ムル在官年數ニ通算モシナイ又恩給額ニモ異動ヲ及サヌト云フコトニナッテ居リマシテ其間、此處テ務メテ居リマスル年月數ハ在官年數ニ入レヌト斯ウ云フ制限ガ二條ニ附イテ居リマス是ダケノ趣意デアリマス、是ハ今日右ノ雇員デアッテ知事トカ何トカ云フ名ヲ戴イテ居ル人ヲ始メテ其他ノ雇員ニモ總テ彼ノ地ニ於テ病ノタメニ斃レタリ或ハ賊徒ノ毒手ニ斃レタル人ノ遺族ニモ適用スルコトデゴザイマスカラドウカ一日モ速ク之ヲ實施シタイモノト考ヘルノデアリマス、是マデモ陸軍ノ雇員給與規則ト云フモノガ有リマシテサウ云フ人ノ遺族ニハ至ッテ少々ノ金額ヲ與ヘルコトガアリマスサウデゴザイマスガ、ソレデハ誠ニ下等ナ者ニ與ヘルヤウナモノニ外ナラヌ、ドウカ斯ウ云フ規程ハ速ニ實施ニナリマシタナラバ大ニツレ等ノコトガ都合ガ宜カラウト考ヘマスカラ特別委員會ニ於キマシテモ全會一致ヲ以テ政府原案ノ通可決致シタ次第デアリマスカラ諸君ニ於キマシテモ速ニ御議決アラントヲ希望致シマス、終ニ臨ンデ一言致シテ置キマスガ、ドウカ諸君モ御不同意ガアルマイト存ジマスカラ流行ノヤウデハゴザイマスガ讀會省略ノ動議ヲ提出シテ置キマスカラ之ニ御贊成ヲ願ヒマス

○子爵林友幸君 讀會省略ニ贊成
 ○田中芳男君 本員ハ唯今官吏遺族扶助法ト云フモノヲ持ッテ居リマセヌカラ一向ソコガ分リマセヌガ、唯今御辯明ニナリマシタノハ即チ從來本員ガ記憶シテ居リマス所デハ恩給ヲ受ケタ者ガ雇員ニ爲レバ直ニ恩給ガ消エルト云フコトニ承知致シテ居リマスガ、其點ガ第四條ニナルノデゴザイマスガ
 ○箕作麟祥君 ドレデゴザイマス
 ○田中芳男君 第三條ノ……
 ○箕作麟祥君 第三條デスカ、第三條ハ遺族扶助法第四條第二項ニ該當スルトキハト云フ御尋デゴザイマスガ

○田中芳男君 エー
 ○箕作麟祥君 ソレハ斯ウ云フコトナンデス、遺族扶助法第四條第二項ト申スモノハナシデゴザイマス、官吏ガ通例ノ病死杯致シマセヌデ、公務ノタメニ傷ヲ受ケテ死ヌトカ、或ハ非常ノ勞働困苦ヲ忍ンデ勤務ニ從事シテ其タメニ發病シテ死ヌトカ、又ハ公務ノタメニ傳染病者ニ接シテ其病毒ニ感染シテ死ヌトカ或ハ戰地ニ於テ公務執行中流行病ニ罹ッテ死ヌトカ斯ウ云フコトガアツタ者ノ寡婦ノ扶助料ハ通例ノ死ニ方ト違ッテ多イ、其扶助料ハ普通恩給年額三分ノ二取ルノデアリマスガ唯今述ベマシタ四條ノ二項ノ場合ハ恩給金額ノ三分ノ二取レル、ソレヲ與ヘルト斯ウ云フ意味デアリマス、宜シウゴザイマスガ

○公奮近衛篤磨君 讀會省略ニ贊成致シマス
 ○松本鼎君 贊成
 ○伯爵大原重朝君 贊成
 ○子爵小笠原壽長君 贊成
 ○南郷茂光君 贊成
 ○男爵青山貞君 贊成
 ○山田卓介君 贊成
 ○角田林兵衛君 贊成
 ○佐藤清右衛門君 贊成
 ○磯邊包義君 贊成
 ○平山成信君 贊成
 ○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 箕作君ヨリ讀會省略ノ要求ガゴザイマシテ規定ノ贊成ガゴザイマス、讀會省略ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 起立者 多數

議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ
 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
 第一條 臺灣總督府條例施行前臺灣總督府所屬ノ雇員ニシテ官吏ノ職務ニ從事シタル者ハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ノ關係ニ於テハ文官判任以上ノ者ト同視シテ處分ス但同雇員タリシ年月數ニ對シテハ官吏恩給法第十二條第二項ノ一及官吏遺族扶助法第二條ヲ適用セス
 第二條 現ニ恩給ヲ受クル者ニシテ第一條ニ該當スルトキハ同雇員トシテ勤務シタル年月數ハ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ニ定ムル在官年數ニ通算セス又同雇員トシテ受ケタル俸給額ノ爲ニ既定ノ恩給額ニ異動ヲ及ボサス
 前項ニ掲クル者官吏恩給法第三條ニ該當スル場合ニハ雇員俸給額ニ依リ算出シタル増加恩給ヲ給ス

第三條 現ニ思給テ受クル者ニシテ第一條ニ掲クル雇員タル者官吏遺族扶助法第四條第二項ニ該當スルトキハ雇員ノ俸給額ニ依リ算出シタル扶助料ヲ其ノ遺族ニ給ス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス 起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ今朝決シマシタル通明治二十六年度歳入歳出總決算及明治二十六年度各特別會計歳入歳出決算委員長報告ノ件會議ヲ開キマス、榎村男爵

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十六年度歳入歳出總決算及明治二十六年度各特別會計歳入歳出決算ヲ審査スルニ内務省所管歳出經常部第八款第三項營繕土木費第十項北海道事業費同第十一款府縣第五項外國人居留地取締及營繕費及歳出臨時部第八款第一項新營費並司法省所管歳出經常部第二款第二項營繕費ニ關スル處分ニ付會計検査院ノ検査報告ニ對スル内務省及司法省ノ答辯ハ穩當ヲ缺クト雖別ニ決議案ヲ提出スル程ノ必要ヲ見ス他ハ異議ナシト議決セリ依テ及報告候也

明治二十九年三月十四日

決算委員長

男爵 榎村 正直

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(男爵榎村正直君演壇ニ登ル)

○男爵榎村正直君 明治二十六年度歳入歳出決算委員會ノ經過ヲ報告シマス、是ハ兼テ議長ノ手許ヘ報告書ヲ差出シソレカラ諸君ヘ配布ニナリマシタ通ノ次第デゴザリマシテ歳入歳出總決算及明治二十六年度各特別會計歳入歳出決算ハ去ル三月三日ニ始メテ總會ヲ開キ

(子爵小笠原壽長君「ドウカ大キナ聲デ願ヒマス」ト述フ)

三月三日ニ始メテ總會ヲ開キマシタ、ソレカラ四日ニ分科シマシテ各受持ニシテ手ヲ分ケテ調べマシタ、所ガ大概皆格別異議ヲ申ス程ナトモゴザリマセ、唯其中内務省所管司法省所管此二ツノ中ニ於キマシテ内務省所管歳出經常部ノ第八款第三項營繕土木費、第十項北海道事業費同第十一款府縣第五項外國人居留地取締及營繕費及歳出臨時部、第八款第一項新營費並司法省所管歳出經常部ノ第二款第二項營繕費ニ於キマシテハ此處分方ニ附キマシテハ會計検査院ノ検査報告ニ對シマシテ其内務省ナリ司法省ナリシテソレニハ答辯ガゴザリマシタガ此答辯ハ必ズ是ハ穩當ト云フコトヲ缺イテ居ルノデアルト云フコトノ說ヲ提出ニナリマシタ、併ナガラ之ヲ以テ格別決議案ヲ提出スルト云フヤウナコトニモ及バヌト云フコトニ總會デハ議決シマシテ其他ハ又一ツモ異議ハナシニ委員會デハ夫テ經過シテ濟ミマシタ、先ヅ是マデノ所ヲ御報告ヲレマス

○箕作麟祥君 質問ガアリマス、決算委員長ニ少シ質問ガアリマスガ此御報告ヲ見マスルト逡信省ノ所ハ穩當ヲ缺クト雖モト云フコトサヘナイト云フ御見込ノヤウデゴザイマスガ果シテサウデゴザイマスカ

○男爵榎村正直君 先刻申述ベマシタ通各科ニ分ツテ調査ヲシマシタ所ガ逡信省ノヨリハ何タルコトモ異議ハナイト云フコトニナラテ居リマス

○箕作麟祥君 少モ不都合ガナイト云フコトデゴザイマスカ

○男爵榎村正直君 不都合ハナイト云フコトデゴザイマス

○箕作麟祥君 尙ホ御尋シマスガ會計検査院ノ報告ノ歳出經常部即チ頁デ云ヒマスルト七頁(二〇)ト云フ括弧ノ中ヘ二十日ト書イテアリマス、逡信事業費、七頁ノ下ノ行ノ所デゴザイマス、會計検査院ノ決算検査報告ト云フモノ

ノ七頁ノ下ノ行……

○男爵榎村正直君 第二行デアリマスカ

○箕作麟祥君 物ガ違フト何時マデ經ッテモ分リマセヌ、明治二十六年……

横ッテウニ小サク會計検査院ト書イテアリマス

○男爵榎村正直君 是デスナ

○箕作麟祥君 ソレデセウ、七頁ノ下ノ側デス一行、二行、三行ノ第三款逡信費、第三項逡信事業費デゴザイマスガ、アソコデゴザイマス、宜シウゴザイマスカ

○男爵榎村正直君 宜シウゴザイマス

○箕作麟祥君 共(二〇)トアリマスガ……今ノ所デス

○男爵榎村正直君 今ノ所デゴザイマセウカ、一ツノ又逡信省アタリカラノ答ガゴザイマスカラ……

○箕作麟祥君 答モアリマスガ、此事デ御尋ネ致シマス、複制限ノ法ヲ設ケ

ト云フコトガ出テ居リマスガ此事ハ昨年モ議場ニ隨分喧マシイ論ガアツタ、上

奏ヲサヘシタト思ッテ居リマス、其位大問題デアリマス、所ガ此逡信省ノ答

ヲ見マスルト、明治二十六年以後複制限法ヲ廢シ單制限法ニ據ルコトニ改

正シタルモ横濱郵便電信局ニ於テ之ガ改正ヲ領知セサリシカ爲ニ複制限ヲ用

井タルモノナリ、本省デハ惡イト思ッタカドウカ知リマセヌガ免ニ角本省デ

ハヤメタ、ケレドモ横濱ノ郵便電信局ハ知ラナカッタカテ遂イ斯ナコトヲ

シマシタト云フコトヲ書テアリマス、併ナガラ是ハ決算委員會ノ速記録ヲ見

マスルト政府委員ノ答ハ敢テ是ハ惡イカラ止メタト云フノザヤナイ、不必要

ダカラ止メタト云フヤウナ答辯ニナツタヤウニ承ッテ居リマスガ果シテサウ

デゴザイマスカ

○男爵榎村正直君 其通デゴザイマス

○箕作麟祥君 サウシマスルト是ハ委員長ハ御確メニナツタト思ヒマスカラ

委員長ニ伺フノデアリマス、若シ委員長ガ御答ガ御迷惑ナラバ政府委員ニ

承ッテモ宜シウゴザイマス、逡信省デ此複制限ト云フモノハ貴族院デ昨年上

奏マデモシテ頻リニ論シタソレニモ拘ラズ不必要ダカラ止メタノデアアル又必

要ガアレバヤル決シテ法律ニ違背モ何ニモシナイト云フノデアリマセウカ、ソコマデモ御突キ留メニナリ御攷究ニナツタノデアリマセウカソコヲ一ツ……

○男爵榎村正直君 其事ハ度々御論ガゴザイマシタガ、ドウモ唯今ノ御話ノ通ニ必要ニナツタト云フコトデゴザイマス、モウ是カラ先キハ入ラヌコトダト云フコトニ始終答ヘテ居ラレマス

○笑作麟祥君 ソレデハ不必要ダト云フコトデアレバ必要ガ起レバ又ヤルカモ知レマセヌカ

○男爵榎村正直君 必要ガ起レバ又スルカト云フコトヲ尋ネマシタラサウ云フコトハナイ是カラ先キハサウ云フコトハナイト云フコトデゴザイマシタ

○男爵渡邊清君 本員モ即チ決算委員ノ一人デゴザイマスガ彼ノ遞信省ニ向ツテ質問シタノハ本員デアルカラ本員カラ一ツ述ベヤウト思ヒマス宜シウゴザイマスカ本員ハソレデ宜シイト決シマシタガ宜シウゴザイマス

○男爵榎村正直君 即チ各科ニ分ツテ其中ノ遞信省ノ所ハ渡邊君ノ引受デゴザイマスガラ渡邊君カラ御答ガアレバソレデ宜シウゴザイマス

（笑作麟祥君「私ハ委員長デナクテモドナタデモ宜シウゴザイマス」ト述フ）

○男爵伊達宗敦君 私ハ唯今笑作君カラ御尋ニナツタト同シ事ヲ御尋シヤウト思ヒマス、私ハ是ニ就テハ政府委員ノ遞信次官ニ改メテ御尋ヲ申シマス、是ハ其笑作君カラモ御尋ニナツタ通ニ幾度尋ネテモ政府ハ不必要ダ不必要ダト云フコトヲ言ハレタ、ソレデ私ノ考ヘル所デハ不必要ダト云フコトニナラ

バ今笑作君モ陳ベラレタ如ク若シ必要ガ生スレバ遞信省ガヤルト云フコトニナル、ソレデ承リタイノハ複制限ト云フモノハ法律上之ヲ行ツテモ差支モナイ、差支ハナイガ必要ガナイカラ行ハナイ、斯ウ云フコトデアリマスルカ又必要ノ有無ニハ關係ハナイ是ハ法律上ヤルベキ事デナイカラ以後ハ決シテ行ハナイ積デアリマスカ、此事ヲ明ニドウカ御答アラントヲ希望シマス

（政府委員男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル）

○政府委員（男爵鈴木大亮君） 複制限ノ事ニ就キマシテ唯今伊達男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマスルガ是ハ既ニ二十五年ノ決算報告ノ時ニ此議場ニ於キマシテ段々御攷究ニナリマシタ事柄デゴザイマスカラ今改メテ申上ゲル必要モナカラウト存ジマスルデゴザイマスガ併シ此二十六年度ニ現ハレタ成行キ

ダケヲ一應申上ゲタ方ガ御分リニ便宜ダラウト思ヒマス二十五年中ニ全ク本省デハ此方法ヲ用ヒマセヌコトニ致シテ居リマス、然ルニ此遞信省ノ會計事務上ニ於キマシテ地方ノ局ニ分擔サシテ置キマスル所ガ澤山ゴザイマス、

其一部ノ横濱ノ局ガ二十六年度ニ於テ此複制限ヲヤリマシタノデ本省ハ既ニ二十五年中ニ全ク此方法ヲ用ヒヌコトニ致シタノデアリマスカラ二十六年度ハ大抵ナカラウト云フコトヲ本省自ラハ信シテ居リマシタノデ、然ルニ會計検査院ノ方カラ照會ヲ得マシテ始メテ二十六年度ニモ横濱ニ一回此方法ヲ

用ヒタコトガアルト云フコトヲ發見シマシタ其以後ハ直ニ總テノ此地方デ會計事務ヲ扱ヒマスル所ニ改メテ通知ヲ致シテ用ヒマセヌコトニ致シテ居リマス、ナゼ最前カラ通知シテ置カナカッタカト申シマスルト詰リ是ハ會計法ノ解釋デゴザイマシテ一々本省ハ法律ノ解釋ニ向ツテ此箇條ハ斯様ニサレルモ

ノデアルト云フコトヲ通知スル譯ニハ參リマセヌ、又通知ヲ致スベキ事柄デモナイノデスカラ各々矢張り法律ハ其事務ニ當リマス者ノ解釋ニ任セマスト云フコトハ勿論ノ事デゴザイマシテ……就キマシテハ最前復制限ヲ用ヒルト

キハ本省デハ斯クミミノ事柄ヲ是カラ用ヒルト云フコトヲ別ニ通知ヲシタノデモナカッタノデゴザイマス、自然本省デ復制限ト云フコトヲヤリ出シマシタノハ矢張り地方會計ヲ扱ヒマス者ガ本省ニ見做ツテ二十五年中ハ幾分此

法方ヲ用ヒマシタモノモゴザイマシタト云フヤウナ譯モゴザイマスカラ本省デ止メタト云フコトハ詰リ法律ノ解釋ニ屬スル事柄デゴザイマスカラ是カラ以來斯ウ云フ事ハセヌト云フコトヲ地方ノ會計ヲ扱ヒマス者ヘ通知ヲ致サ

ナカッタノデアリマス、然ルニ斯ウ云フ誤ガ起ツテ來タノデアルカラ改メテ此際ハ地方ノ會計ニ當ツテ居リマス者ヘ注意ヲ致シテゴザイマスカラ此以後ハ万々無イコトヲ保證致シマス、扱キナセ止メタ、以來ハドウスルカト云フ御尋ニナリマスト云フト詰リ是ハ既ニ昨年モ委シク申上タ次第デゴザイマス法律ノ適用上ノ解釋ノ違ニナツテ居リマス、サリナガラ又他ノ人ガ見マシテ穩ナラヌ不適當デアルト云フサウ云フ認メヲ與ヘテ居リマスルヤウナ方法

用ヒタコトガアルト云フコトヲ發見シマシタ其以後ハ直ニ總テノ此地方デ會計事務ヲ扱ヒマスル所ニ改メテ通知ヲ致シテ用ヒマセヌコトニ致シテ居リマス、ナゼ最前カラ通知シテ置カナカッタカト申シマスルト詰リ是ハ會計法ノ解釋デゴザイマシテ一々本省ハ法律ノ解釋ニ向ツテ此箇條ハ斯様ニサレルモ

ノデアルト云フコトヲ通知スル譯ニハ參リマセヌ、又通知ヲ致スベキ事柄デモナイノデスカラ各々矢張り法律ハ其事務ニ當リマス者ノ解釋ニ任セマスト云フコトハ勿論ノ事デゴザイマシテ……就キマシテハ最前復制限ヲ用ヒルト

キハ本省デハ斯クミミノ事柄ヲ是カラ用ヒルト云フコトヲ別ニ通知ヲシタノデモナカッタノデゴザイマス、自然本省デ復制限ト云フコトヲヤリ出シマシタノハ矢張り地方會計ヲ扱ヒマス者ガ本省ニ見做ツテ二十五年中ハ幾分此

法方ヲ用ヒマシタモノモゴザイマシタト云フヤウナ譯モゴザイマスカラ本省デ止メタト云フコトハ詰リ法律ノ解釋ニ屬スル事柄デゴザイマスカラ是カラ

以來斯ウ云フ事ハセヌト云フコトヲ地方ノ會計ヲ扱ヒマス者ヘ通知ヲ致サ

ナカッタノデアリマス、然ルニ斯ウ云フ誤ガ起ツテ來タノデアルカラ改メテ

此際ハ地方ノ會計ニ當ツテ居リマス者ヘ注意ヲ致シテゴザイマスカラ此以後ハ万々無イコトヲ保證致シマス、扱キナセ止メタ、以來ハドウスルカト云

フ御尋ニナリマスト云フト詰リ是ハ既ニ昨年モ委シク申上タ次第デゴザイ

マス法律ノ適用上ノ解釋ノ違ニナツテ居リマス、サリナガラ又他ノ人ガ見マシ

テ穩ナラヌ不適當デアルト云フサウ云フ認メヲ與ヘテ居リマスルヤウナ方法

ヲ是非固執シテソレヲ用ヒナケレバナラヌト云フ譯モゴザイマセヌモノデス

カラシテ、又此豫定價格即チ競争入札ノ場合ニ於キマシテハ必シモ此複制限

デナケレバナラヌト云フコトモゴザイマセヌナリ、其當時ハ何か必要モアツ

タモノデゴザイマセウケレドモ今日ニナリマシテ此競争入札ノ場合ニ豫定價

額ノ定方ニ於キマシテモ必シモ是デナケレバナラヌト申スコトハ最前モ申シ

マシタ通デゴザイマスカラ種々解釋ナリ又方法ナリニ其手續モアル譯デゴザ

イマスニ依ツテ必シモ斯ウ云フモノハ用ヒナケレバナラヌト云フモノデアリ

マセヌカラシテ既ニ段々申上ゲマシタ通改正ヲ致シテゴザイマス、就キマシ

テハ此答辯書ニモ既ニ改正シタト云フコトハ記載シテアルノデゴザイマス

行ハナイトサウ云フ事實ノ上ヲ御尋スルノデハナイ誠ニ簡明ナ話デアアル検査院ノ言フ如ク違法カ、違法デアアルガ併ナガラ今更違法ト云フノモ誠ニ負惜ミテ残念デアアルカラツレテ穩當ナラズト斯ウ云フ語ヲ以テ改正シタト云フコトデアレバツレデモ宜シイ、又サウデナクシテ決シテ是ハ法律上違背シテ居ナイモノデアルト云フ御考カ、其違反シテ居ルヤ否ヤト云フ所ヲモ少シ明ニ御答ヲ願ヒタイノデアアル

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 御答ヲ致シマス、最前申述ベマシタ横濱云々ノコトハ御尋デナカッタ趣デゴザイマス、勿論今日マデノ成行ヲ申上ゲマスルト云フコトヲ冒頭ニ申上ゲテ置キマシタ、ソレハ御承知ノコト、思ヒマス、扱此法律ノ解釋即チ法律ノ適用ト申シマスコトハ人々其ノ見込ヲ以テヤルコトデゴザイマスカラ必ズ同一様ニハナラヌ譯ノモノデアリマス、或ハ實際ニ之ヲ適用シマス際ニハ立法者ノ意思ト背クコトハアルカモ知レマセヌ、是モ亦適用者ノ解釋上カラ生ズル次第デアリマス、苟モ法律ノ適用ト云フコトニナリマスルト、到底其人ニ依ッテ意思ニ相違ヲ生ズルコトハ争ノナイ筈ノコトデアアル、既ニ此事柄ニ附キマシテハ前年モ決算報告ニ對シテ此事柄ガ不當デアアル法律ノ精神ニ背イテ居ルト云フ本院ノ決議ヲ以テ上奏ニモナツテ居ルノデゴザイマス、今改メテ之ヲ考究スルノ必要ハナカラウト存ジマス、且ツ遞信省ハ目下ドウシテ居ルカト申シマスルト此方法ヲ用ルルコトヲ廢シテ改正ヲシテ用ヒナイト云フテ見マスルト、今日法律ノ解釋問題ハ何モ考究スル必要ハナカラウト思ヒマス、多分ソレデ御了解ニナルダラウト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 イヤチットモ分リマセヌ、勿論其人ニ依ッテ解釋ガ違フト云フコトハ本員モ知ツテ居ルガ今尋ネルノハ遞信省デハドウ云フ解釋デ居ラレルカト云フコトヲ問フノデアリマス

○政府委員(男爵鈴木大亮君) ソレハ既ニ二十五年年度ノ決算報告ガ此議場ノ議ニ上ツテ居リマス時ニ明ニ申上ゲテ置キマシタカラ速記録ヲ能ク御讀ミニナレバ御分リニナラウト思ヒマス、改メテ今ノ御答ヲスル必要ハナイト思フ

○男爵伊達宗敦君 必要ガアルカラ御尋スルノデ、必要ノナイ事ハ問ハナイ、併シ幾ラ尋ネテモ遞信次官鈴木大亮君ハマルデ瓢箪總デアアル、宛モ瓢箪ヲ以テ餘ヲ押ヘルト同ジコトデ斯様ナ分ラヌ者ニ問フコトハ無駄デアアルカラ、依ッテ止メマス

○子爵曾我祐準君 本員モ一ノ動議ヲ提出致シマス、此決算報告ノ件、此事ニ就イテハ今案作君カラ質問ヲサレマシタ事、此事ハ明治二十四年及五年ノ決算ノ時ニ當ツテ同一様ノ事ガアツタカト思ヒマス、就イテハ二十六年度ニ就テモ同一事件ガアルト、是ハ決議トカ何トカ云フコトニナサネバナルマイト思ヒマスガ、何分咄嗟ノ間唯今此所デ其案ヲ提出スル間モゴザリマセヌカラ、此會ハ御延バシニナラムコトヲ希望スルノデアリマス、即チ二日ト云フモ此議會ハ延日ニナリマシタニ依ッテ幸ナ事デゴザイマスニ依ッテ今日ハ之ヲ

出致シマス

○箕作麟祥君 曾我子爵ノ動議ニ賛成致シマス

○公爵近衛篤磨君 賛成

○子爵鍋島直柔君 賛成

○男爵伊達宗敦君 賛成

○根岸武香君 賛成

○梅原修平君 賛成

○伯爵小笠原忠忱君 賛成

○子爵唐橋在正君 賛成

○子爵本多正憲君 賛成

○子爵平松時厚君 賛成

○子爵小笠原壽長君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 此會議ハ唯今曾我子爵カラ動議ガ出マシテ今日ハ中止シテ延バスコトニ致シタイト云フコトデゴザイマス、別ニ御異議ガナケレバ……

決議ニマデニ至ラズシテ御延バシニナランコトヲ希望致シマス、此動議ヲ提出致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ御異議ナイニ依ッテ是ハ延スコトニ致シマス、次ニ清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法案、衆議院提出、第一議會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法案
 右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也
 明治二十九年三月二十四日
 衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
 (左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法案
 第一條 清國及朝鮮國駐在ノ領事ハ在留ノ帝國臣民該地方ノ安寧ヲ妨害セムトシ又ハ該地方ノ風俗ヲ壞亂セムトスル者アルトキハ一年以上三年以下在留スルコトヲ禁止スヘシ

第二條 在留ヲ禁止セラレタル者ハ十五日以内ニ退去スヘシ若ク期限内退去シ難キ正當ノ理由アリテ其ノ旨ヲ申立ツルトキハ領事ハ相當ノ猶豫期限ヲ與フルコトヲ得

第三條 在留禁止ノ命令ヲ受ケタル者其ノ命令ニ對シ不服アルトキハ命令ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ領事ヲ經テ外務大臣若ハ駐劄帝國公使ニ該命令取消ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第四條 前條ノ申請ヲ受ケタルトキハ外務大臣若ハ駐劄帝國公使ハ其ノ事

實ヲ審查シ領事ノ命令ヲ認可シ若ハ之ヲ取消スヘキ命令ヲ爲スヘシ其ノ
命令ハ確定ノモノトス

第五條 在留ヲ禁止セラレタル者營業上若ハ其ノ他ノ關係ニ於テ其ノ地ヲ
去リ難キ事情アリト認ムルトキハ領事ハ其ノ期限間相當ノ保證金ヲ出サ
シメ在留セシムルコトヲ得

第六條 保證金ヲ出シ在留ノ許可ヲ得タル者其ノ期限內再ヒ第一條ノ舉動
アリト認定スル時ハ其ノ保證金ヲ沒收シ仍ホ在留ヲ禁止スヘシ

第七條 在留禁止ヲ命セラレタル者改悛ノ狀アルトキハ領事ハ何時ニテモ
職權ニ依リ又ハ所轄地方長官ノ證明ニ依リ該命令ヲ取消スコトヲ得

第八條 退去期限若ハ猶豫期限內ニ退去セサル者及禁止期限ヲ犯シタル者
ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
附則

第九條 明治十六年第九號布告及明治十八年第二十六號布告ハ此ノ法律實
施ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○山脇玄君 此案ニ對シマシテ政府ハ御同意ニナル御考テゴザイマスルカ、
其事ヲ一應伺ヒマス

(政府委員原敬君演壇ニ登ル)
○政府委員(原敬君) 御答致シマスガ、此案ハ最初衆議院ニ提出ニナリマシ
タ時ハ同意ノ出來兼ネル箇條ガ随分多クゴザイマシタガ、ソレハ衆議院ニ於
テ修正ニナリマシテ今日ノ案ニナリテ居リマス、今日ノ案テゴザイマスレバ
政府ハ同意ヲ致シテ差支ナイト考ヘマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○子爵鍋島直柔君 此案ノ委員ハ議長ノ御選定ヲ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 贊成
(贊成ト呼フモノ數名アリ)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 鍋島子爵ノ委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云フ、
別ニ御異議ハゴザイマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 然ラバ其事ニ決シマス、次ニ北海道鐵道敷設法
案、本院提出、衆議院回付、會議ヲ開キマス、即チ衆議院ニ於テ第九條ト云フ
モノヲ新ニ加ヘタノテゴザイマス他ニ修正ハナイノテゴザイマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
北海道鐵道敷設法案
第一條 政府ハ北海道ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲漸次豫定ノ線路ヲ調査
シ及敷設ス

第二條 北海道豫定鐵道線路ハ左ノ如シ

一 石狩國旭川ヨリ十勝國十勝太及釧路國厚岸ヲ經テ北見國網走ニ至ル
鐵道

一 十勝國利別ヨリ北見國相ノ内ニ釧路國厚岸ヨリ根室國根室ニ至ル鐵
道

一 石狩國旭川ヨリ北見國宗谷ニ至ル鐵道

一 天鹽國奈與呂ヨリ北見國網走ニ至ル鐵道

一 後志國小樽ヨリ渡島國函館ニ至ル鐵道

一 北海道鐵道工事ハ實地ノ緩急ニ應ジ各線ヲ數區ニ分チ每區ノ工事
ヲ繼續事業トス

第四條 北海道鐵道事業ニ要スル費用ハ公債ヲ募集シテ之ニ充ツ

第五條 北海道鐵道公債ノ利子ハ一箇年百分ノ五以下トス

第六條 北海道鐵道公債ニ關シ本法ニ規定ナキモノハ總テ明治十九年勅令
第六十六號整理公債條例ニ據ル

第七條 北海道鐵道敷設ノ費用ニ充ツル爲金三千三百萬圓ヲ限リ明治三十
年度ヨリ工事ノ緩急ト財政ノ都合ヲ圖リ漸次公債ヲ募集ス

第八條 政府ハ鐵道線路ヲ實測シ每區ノ工費豫算ヲ定メ帝國議會ノ協贊ヲ
求ムヘシ

第九條 明治二十五年法律第四號鐵道敷設法第十四條第十五條ハ本法ニ適
用ス

○公署近衛篤磨君 本案ハ衆議院ニ於テ此九條ニ鐵道敷設法第十四條第十五
條ヲ適用スルト云フ箇條ヲ加ヘタノデアリマスルガ、提出者ハ別ニ此必要ハ
ナイト思ヒマシテ提出ノ時分ニハ書キマセヌデアリマシタガ、衆議院テ之ヲ
加ヘマシタガ、別段ニ是ガ必要ガアルトモ思ヒマセヌケレドモ併ナガラハハ
タ所ア別段ニ又差支ハナイト思ヒマスカラシテ既ニ會期モ切迫シテ居リマス
コトテゴザイマスシ改メテ態々不同意ヲ唱ヘテ協議會ヲ開ク程ノ必要モナイ
ト思ヒマシテ提出者ハ同意スル考テゴザイマス、ドウゾ滿場諸君ニ於キマシ
テモ是ニ御同意下サルヤウニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 本員モ元此法案提出者ノ一人デアリマス、唯今近衛公署
ノ御述ニナル通本員モ全ク衆議院ノ通テ宜シカラウト思ヒマス、一寸諸君ノ
御注意マデニ申シ上ゲテ置キマスガ鐵道敷設法中十四條十五條ハ本法ニ適用
スト云フ衆議院ノ修正デアリマス、是ダケヲ加ヘマシタノデアリマス、此鐵
道敷設法ノ第十四條ト云フモノハドンナコトデアアルカト云フト詰リ法文ヲ讀
ムト長クシクナリマスカラ取捨申シ上ゲルト、私設鐵道會社ヨリ出願シ
タル時ハ豫定線ニ入ラテ居ルニ依ッテ議會ノ協贊ヲ經テ許スコトガアルト云
フ條、ソレテ十五條ハ工事著手ノ順序ソレカラ其決議ニ基イテ工事ノ都合ニ
依ッテ募集スル所ノ金額、之ヲ鐵道會議ニ掛ケル斯ウ云フ譯ニナルノテゴザ
リマス、ドウカ諸君ノ御參考マデニ十四條十五條ト云フモノハドウ云フコト
デアアルカト云フコトヲ取捨シテ御贊成ヲ促スタメニ申シ上ゲテ置キマス

○男爵小澤武雄君 本員モ衆議院ノ修正ノ通テ宜カラウト思ヒマス、其理由
ハ今近衛公署ガ御述ベニナリマシタガ尙ホ其之ヲ考ヘテ見マスルト云フト總
テノ鐵道ト云フモノハ即チ鐵道敷設法ニ依ッテ私設鐵道會社ニ許スコトニ
ナラテ居リマスカラ北海道ノ方ノミナラヌト云フ理由ハナイノデアアルカラ此
衆議院ノ修正ノ通ニナラテ宜カラウト考ヘマス

○子爵堀田正養君 本員モ即チ此近衛公署ノ提出ニナリマシタ贊成者ノ一人
デアリマスガ、本員杯ハ既ニ最初カラ此十四條ト十五條ノ所ヲ加ヘテ置イタ

ラ宜カラウト云フ意見ヲ持ツテ居ラタ位デゴザイマスカラ、無論本員ニ於テ衆議院ノ修正ニ同意デアリマス、ドウカ滿場諸君モ衆議院ノ修正通御贊同アラントコトヲ希望シマス

〔政府委員松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松岡康毅君) 據ナク一言申シマスガ、是ハ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ此條ヲ加ヘルト云フコトデアリマス、其時政府ハ北海道ハ此敷設法ニ於テ私設ヲ許ス積カ許サナイ積カト云フ問ガ委員會デ起リマシタ、ソレハ貴族院ニ於テ近衛公爵ヨリ北海道鐵道ニ關スル質問ガゴザイマシテ、其時ニ私設ハ許サナイト云フコトヲ申シ述ベテアル、ソレカラ鐵道會議ニ上セルト云フコトモ元來北海道ノ鐵道ハ遞信省ノ主管ニモ屬セズ特ニ内務省ニ屬シテ居ル、北海道廳ヲシテ之ヲ管理セシメ内地ノ鐵道トハ性質ヲ異ニシテ居ル、ソレ位ナモノデアルカラ鐵道會議ニ掛ケル積ハナイカラサウ云フモノヲ載セルノハ不同意デアル、是ダケノコトハ委員會ニ向ッテ政府委員ハ申シ述ベテゴザイマスルコトデアゴザイマス、ソレダケノコトヲ當議場ニ向ッテモ申シ述ベテ置キマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 他ニ御發議ガ無ケレバ表決ニ付シマス、即チ衆議院ノ修正ニ同意スルヤ否ヤノ決ヲ採リマス、衆議院ノ修正ニ同意スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デアゴザイマス、次ニ國勢調査ニ關スル建議案會議、是ハ前會ノ續ト云フノガ過ヲテ議事日程ニ載ッテ居ラヌノデス、即チ昨日ノ續ヲ開キマス

○船越衛君 是ハ簡單ナガラ此處テ其理由ヲ申シ述ベテ置キマス、此法案ノ大體ノ主旨ハ能ク分ッテ居ラウト思ヒマスカラ、是ハ諸君ドウソ御贊成アラントコトヲ希望致シマス

○子爵曾我祐準君 今提出者ガ述ベラレル通テ昨日詳カニ御演説ガアツタサウデアリマス、又此書イタモノモ餘程詳ニ分ッテ居リマスカラ直ニ御採決アラントコトヲ希望致シマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 別ニ御發議ガ無イト存シマスニ依ッテ表決ニ付シマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デアゴザイマス、次ニ農商工會設置ニ關スル建議案、前田正名君發議、會議ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

〔有賀書記官朗讀〕

農商工會ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治二十九年三月二十三日

發議者

前田正名

贊成者

伯爵 中川久成
外三十二名

農商工會設置ニ關スル建議案
農商工業將來ノ方針ヲ確立スルノ目的ヲ以テ諸般ノ調査講究ヲ爲シ又ハ主務大臣及各省大臣ノ諮問ニ應スル等ノ爲メ農商工會ナル有力ノ機關ヲ設ケ農商工業ニ關スル施設ハ此會ノ諮詢ヲ經ルノ制ト爲シ速ニ之ヲ設置アラントコトヲ切望ス

抑モ産業ノ發達振興ハ朝野一致ノ希望ニ出ルニモ拘ラス未タ以テ確然タル方針ノ下ニ運行スヘキ順序立タサルカ爲メ物産ノ改良産額ノ増殖大ニ見ルヘキモノナキニアラサルモ營業者ノ收ムヘキ利益ハ漸々相下リ今ヤ殆ト衰萎ノ悲境ニ沈淪セントシツ、アリ是レ他ナン調査完カラス講究足ラサルカ爲メ一定不變ノ方針ヲ確立スル能ハサルニ職由セリ曩ニ全國重要ノ各實業者ハ現在ノ狀態ニ顧ミル所アリ組織機關ノ二者ヲ具備スルニアラサレハ産業ノ發達振興ノ期シ難シト爲シ第一著手ニ團體ヲ組織シ既ニ數十業ノ營業者一致協同十一團體ヲ構成スルニ至レリ實業界ノ方針ヲ營業者ノ與望ニ定ムル之ヲ外ニシテ何ノ策ヲ取ルキヘモアラシヤ民間業ニ已ニ此設ケアリ宜シク速ニ農商工會ナルモノヲ設置セラレ主トシテ農商工業ニ關スル調査講究ニ從ハシメ且將來農商工業ニ關スル各般ノ施設ヲ諮詢スヘキ高等諮問ノ府ニ充テラレンコトヲ切望シテ止マス而シテ其會員ハ全國各實業者ヲ代表スヘキ實業各團體及適當ノ私立諸會ヨリ選拔シ此會ヲ組織セルノ本旨ニ悖ラサラントコトヲ要ス政府ハ宜シク此議ヲ容レ速ニ其施設ヲ爲サンコトヲ謹テ茲ニ之ヲ建議ス

〔前田正名君演壇ニ登ル〕

○前田正名君 實ハ此問題ニ附キマシテハ十二分申上ケル覺悟デアゴザイマシタケレドモ不幸ニシテ毎日延ビテ來マシテ早今日ハ遲クナリマシタカラ十二分ノ御話ヲスルコトガ出來ナイノハ如何ニモ遺憾デアゴザイマス、農商務省ニ於キマシテモ能ク今日ノ形勢ヲ認メラレテ著々農工商ノ方針ヲ進メテ行カレマスケレドモ、尙ホ一層此農工商會ヲ組織セラレテ十二分ノ働ヲナサレンコトヲ希望スル者デアゴザイマス、已ムヲ得ズ簡單ニ申述ベマスルガ實ニ此時ニ相當スル農工商ノ組織ト云フモノ且ツ機關ト云フモノガ十分ニ備ッテ居ナイタメニ實業上ノコト非常ニ困難ヲ受ケテ居ルノデアゴザイマス、先刻棉ノ輸入等ノコト實ニ痛歎ニ堪ヘマセヌ、一番此綿ガ日本全國ノ生血ヲ絞リ取ルモノデアゴザイマス、實ニ一人ニ附キ日ニ...年ニ五十餘餘ツ此綿ノタメニ精血ヲ絞り取ラレテ居ルノデアゴザイマス、近來ニナリマシテハ此支那ノ勢ハ實ニ軍サ中ノ官報ヲ見ルヨリモ一層寒ケテ覺エルヤウニ感シマス、其譯ハ既ニ七箇所ノ非常ノ紡績所ヲ設立シ、尙ホ今五箇所ノ紡績所ヲ設立シツ、アルハ官民トシテ殆ド八百萬兩ノ...八百萬兩ノ官民ト共ニ此金ヲシマス、實ニ此行ク先キニ支那ハ二億萬兩許リ日本ニ納メメセウケレドモ、此綿一ツ、生絲一ツデモ數年ヲ經ズシテ此日本ノ二億萬兩ヲ取返スコトハ鏡ニ掛ケテ見ル如クデアゴザイマス、故ニ其調ニ於キマシテハ實ニ不完全ナモノデアゴザイマス、故ニ此農商工會ヲ組織セラレテ十分ニ働ヲ付ケテ主務者ハ此組織ヲ以テ十分御働ナラントコトヲ望ムデアゴザイマス、先ツ先刻綿ノ輸入稅ヲ廢スル是ハ日本ノ方針トシテ左モゴザイマセウケレドモ今日ノ有様トシテハナカク、サウ云フモノデアゴザイマセヌ、先ツ日本ノ農國トシテ此農產物即チ兵隊ト見ルトキニハ米ハ微塵ニモ外國ノ米ヨリ撲殺サレ、綿ハ勿論ノコト殺サレテ居リマス、

麻モ殺サレテ居リマス、烟草モ殺サレツ、アリマス、砂糖モ殺サレモ殺サレテ居ル、全ク此農産物ハ彼等ノ敵ヨリ皆打殺サレテ居ルノデゴザイマス、モウ追ッ付日本ノ人口ノ蕃殖ヲ見マスルト遠カラズシテ八千万人ト云フ日本ニナツテ來ルノデゴザイマス、此小サナ船ノ如キ日本ニ八千万人ノ人口ニナツタ時ニハ此地積リ以テ衣食住ヲ立テ、行クト云フコトハ到底出來ナイ國デゴザイマス、故ニ今日此負擔ヲ……昨一十八年マデハ一八二付キ二圓二二三錢凡ソ平均ニ當ツテ居リマスルガ、當年ヨリハ殆ド三圓八十錢、四圓近イ負擔此負擔ニ打勝ツカ之ニ負ケルカ、即チ國ノ盛衰ハ茲ニ在ルノデゴザイマス、故ニ米ヲ初メ其他十二分ノ御調査アツテ著々之ニ討死シナイヤウニ打勝ツテ行ク仕事ヲセナイ以上ハ此日本ハ到底維持シテ行ク目的ハ更ニゴザイマセヌ、故ニ此農工商ノ會ヲ御組織ナサルノハ實ニ今日ノ急務デアツテ、決シテ人ヲ以テ組織セズ幸ニシテ茲ニ團體或ハ組合等ガ出來テ居リマスルカラ、此組合ニ依ッテ十分ニ其調査ヲ仕遂ゲサセテ、其言フ所ヲ十分ニ御採用ニナツテ、此日本殖産上ノ方針ヲ定メナケレバ到底今ノ如ク負擔ガ殖産、國難ガ日ニ月ニ重テ來ル、如何ニシテ此全國ヲ維持シテ行クカト云フト實ニ其言葉ニ困ルヤウナ次第デゴザイマスルニ依ッテ、願クハ農工商會ト云フモノヲ今一層、今承ル所ニ依リマスルト業ニ其方針ニ依ッテ農商務省ハ組織セラレツ、アルサウデゴザイマスルガ、一層二層之ニ十分ナル御組織アランコトヲ切ニ望ミマスルモノデゴザイマスルカラ、願クハ御一同ノ御贊成ヲ得マシテ此上十二分ノ御組織ニ就イテ政府ハツレノ、議會ニ十分ノ組織ヲ御提出ニナランコトヲ希望スルモノデゴザイマス、時モゴザイマセヌカラ已ムヲ得ズ簡單ニ申上ゲマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御異議ガナケレバ直ニ決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案、丸山作樂君、外一名發議、會議ヲ開キマス、是ハ長ウゴザイマスルニ依ッテ朗讀ハ省略ヲ致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治二十九年三月十七日

發議者

贊成者

侯爵

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
神祇ニ關スル獨立官衙設置ノ建議案
恭テ惟フニ維新開明ノ業ニ就ク茲ニ二十有九年我カ允文允武ナル 天皇陛下夙夜以テ萬機ヲ親裁シタマヒ賢明忠誠ナル維新ノ功臣勵精以テ輔弼ノ任

- 丸山 作樂
- 根岸 武香
- 菊 亭 修季
- 外九十五名

下夙夜以テ萬機ヲ親裁シタマヒ賢明忠誠ナル維新ノ功臣勵精以テ輔弼ノ任

ヲ盡シ專ラ
皇祖皇宗ノ遺訓ニ基キ博ク海外ノ大勢ヲ察シ典範已ニ制定シ憲法業ニ實施セララル茲ニ七年ニシテ文物典章悉ク備ハラサルナシ是ニ於テカ明治革新ノ大造將ニ其ノ美果ヲ結ハムトス嗟盛ナル哉然リ而シテ今日ノ昭代猶未タ國體上其要領ヲ備ハサル者アリ何ツヤ神祇ノ事即チ是レナリ夫レ神祇ヲ敬祭スルハ本邦國體ノ本源即チ皇天二祖ノ大詔ニ出テ天壤無窮ノ神勅ト相連帶シテ離レズ其一ヲ闕クトキハ則チ國家ノ體制具ラサルナリ故ニ歷朝神祇官ヲ諸官ノ上ニ置キ以テ之レヲ畏敬シ給ヘリ中古綱紐ヲ解キ武將大政ヲ擅ニシテヨリ官ヲ置カサル數百年而シテ維新ノ初メ大政ノ古ニ復スルヤ列聖ノ遺訓ニ則リ直ニシテ之レヲ復興シ天下ノ臣民亦大イニ矜式スル所トナレリ然ルニ幾クノ年ヲ經スニシテ又廢セララル蓋學理ノ衝突ト宗教ノ誤認トニ依リシナラム今ヤ神祇ヲ併セテ宮中ニ祭鎮シ
天皇陛下ニ一聖躬ニ總攬シテ親祭畏敬シ給フ臣下ノ幸福是レヨリ大ナルハナシ然レトモ臣下ノ本分上ヨリ之レヲ謂フトキハ甚タ恐懼ニ堪ヘサル者アリ何ツヤ

皇祖ノ大詔ニ乖違スル是レナリ何ヲカ大詔ニ乖違スト謂フ謹テ古史ヲ考フルニ
皇祖ノ詔ニ曰ク吾レハ即天津神籙ト天津磐境トヲ起樹テ當ニ皇孫ノ爲メニ奉齋スヘシ汝天兒屋根天太玉二神宜ク此ノ神籙ヲ持シ葦原ノ中國ニ降リ亦吾孫ノ爲メニ奉齋スヘシト此ノ輔相ノ臣ニ賜ヘラレ大詔ヲ觀レハ臣下ハ此ノ大詔ニ敬從シ此ノ大詔ヲ顯彰シ臣子ノ本分ヲ以テ神祇ヲ敬齋シ報本反始ノ典ヲ重クシ秩序ヲ正クシ大義ヲ明カニシ人心ヲ統一スル所ノ神祇主管ノ獨立官衙ナカル可カラサルヤ明ナリ而シテ之レナキハ即
皇祖ノ大詔ニ乖違スル者ト謂ハサルヲ得ス亦國家ノ體制ヲ具ヘサル者ト謂ハサルヲ得サルナリ當今內務ノ一小局ニ於テ
天祖ノ神宮及熱田出雲ヲ始メ大小ノ神社ト祠宇佛寺トヲ一括シテ神官僧侶ヲ掌理シ遂ニ國家ノ宗祀臣民ノ鎮守ヲシテ自由宗教ノ會堂教師ト混淆セシメ政教ヲ同視スルニ至レル豈亦歷朝崇敬ノ意ナラムヤ若シ其レ斯ノ如クニシテ經過セハ數千年間臣民トシテ皇室ニ密著シ來ル所ノ秩序ハ彌々破壞シ人心ハ益々亂離シ終ニハ天壤無窮ノ
皇室金甌無缺ノ國體其ノ維持保存ノ道ヲ失フニ至ラムモ測知ル可ラサルナリ宜ク將來ニ注目シ人心統一ノ淵源タル大詔ヲ宣揚シ神祇ニ關スル獨立ノ官衙ヲ設置セラレムコトヲ因テ茲ニ建議ス

○根岸武香君 諸君、此神祇ニ關スル官衙設置ノ建議案ヲ差出シマシテ、丸山作樂君ガ唯今マデ御待ニナツテ居リマシタガ、急ニ發病致シマシテ御歸宅ニナリマシテゴザイマスカラ私ヨリ申上ゲマス、是ハ一體丸山君ガ懇々之ヲ御說明シマスルノデゴザイマスガ、最早御歸ニモナリ、私ハ不辯デハゴザイマスルシ、此理由書ニ委シテ述ベテゴザイマスルカラシテ、ドウカ之ヲ以テ滿場ノ諸君御贊成相成ルヤウニ願ヒマスルデゴザイマス、宜シウドウゾ……
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御發議ガ無ケレバ直ニ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

發議者

侯爵

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
神祇ニ關スル獨立官衙設置ノ建議案
恭テ惟フニ維新開明ノ業ニ就ク茲ニ二十有九年我カ允文允武ナル 天皇陛下夙夜以テ萬機ヲ親裁シタマヒ賢明忠誠ナル維新ノ功臣勵精以テ輔弼ノ任

- 丸山 作樂
- 根岸 武香
- 菊 亭 修季
- 外九十五名

下夙夜以テ萬機ヲ親裁シタマヒ賢明忠誠ナル維新ノ功臣勵精以テ輔弼ノ任

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案、子爵平松時厚君外一名發議、會議ヲ開キマス、朗讀ハ省略ヲ致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
國費ヲ以テ國學院ヲ保護スルノ建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治二十九年三月二十三日

發議者 子爵 平松時厚
男爵 玉松眞幸
贊成者 子爵 長谷信篤
外三十一名

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
國學ハ國家教育ノ淵源ニシテ其ノ保存發達ヲ圖ルハ實ニ國家ノ義務ナリ然ルニ今之ヲ專攻スルハ天下唯一ノ皇典講究所ノ國學院アルニ而シテ該院ハ目下其ノ資力ニ乏シキヲ訴フ茲ニ年々金壹萬圓ヲ補給セハ稍々其ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘシト云フ宜シク國費ヲ以テ之カ保護ヲナスヘキナリ因テ茲ニ建議ス

明治二十九年三月 日
○子爵平松時厚君 一寸諸君ニ申上ゲマス、私ハ風ヲ引キマシテ咽喉ガ痛ウゴザイマスカラ玉松氏ヨリ辯明ヲ致サレマスカラ、ドウゾ……
(男爵玉松眞幸君演壇ニ登ル)

(一)簡單ニ願ヒマス「ト呼フ者アリ」
(二)人ガ足リナクナリマス「ト呼フ者アリ」

○男爵玉松眞幸君 諸君、此國學ト申シマスルモノハ國家ノ腦髓ヲ造ル所ノ學術デゴザイマシテ斯學ノ興廢ハ國家ノ強弱ニモ大ナル關係ノアルモノデアリマス、故ニ國家ハ斯學ノ保存發達ヲ忽ニシテハナラヌコトハ建議案ノ理由書ニモ委シク述ベテゴザイマス、諸君、此建議案ヲ御一讀アツテ既ニ御承知ノコト、存ジマスカラ今更喋々スルノ必要ナシト思ヒマス、然ラ大要ヲ申上ゲルコト、致シマス、扱方今國學ノ專門學校ト申スモノハ實ニ皇典講究所ニ在ル所ノ國學院ノ外亦觀ルベキモノハアリマセウ今日ノ有様デアリマス、元來國學院ニテ生徒ヲ教養シテ居ル所ノ目的ハ同院設立ノ趣意ナリ及規則ナリヲ見ルニ國民ヲシテ内外本末ヲ誤ラヌヤウニスルガタメニ必ズ先ヅ本邦固有ノ學術ヲ研究シ 皇室ノ尊嚴ナル所以、國體ノ鞏固ナル所以ヲ明ニシ人情ノ基ク所、風俗ノ由ル所ヲ繹ネマシテ國民忠愛ノ精神ヲ發揮シ又智育ヲシテ國體ニ基ケル德育ト共ニ併進セシムトノ目的デアリマシテ尋常中學卒業程度ノ壯年者ニ主トシテ國史國文國法等ヲ教授シ併セテ其研究應用ニ須要ナルモノハ外國ノ學術ト雖モ兼修セシメテ本邦學術ノ助ケト致シ且ツ之ガ活用ヲ計ラントスル唯一ノ學校デアリマス、サレバ國學院ハ斯學ノ保存發達ニ於テ大切ノ地位ニ立チ居ルモノト申シテ宜カラウト思ヒマス、然ルニ其國學院ノ現狀資力薄キタメ擴張ノ出來ガタキハ固ヨリ其目的ノ第一ト致シテ居リマ

ス、研究科サヘ設ケルコトガ出來ヌト云フ有様ガト申スコトデアリマス、此一事ハ國家ヲ思フ者ノ御一考ヲ要スルモノト我輩ハ信ジマス、同院ハ明治二十三年以來繼續致シテ居リマスモノデアアツテ目下三十餘名ノ生徒ヲ養成致シテ居リマス、又今日マデノ卒業生ハ凡ソ百名デアリマシテ何レモ師範中學等ノ教師又ハ官吏或ハ實業家著述家其他ノ公共事業ニ從事シテ居リ是等ハ普通教育社會ニ於キマシテ國家的教育上殊ニ有效ナル勳ヲナシテ居ルモノト言フテ不可ナキモノト思ヒマス、惟フニ國家的精神ノ稍々與シ來マシテ今日ノ世態ニハ此國學院與テ力アルコトハ少カラヌコト、信ジマス、今此二年一萬圓ノ保護金ヲ下付スルハ國家ノ上カラ申セバ價廉ニシテ其益ノ大ナル事柄デアラウト考ヘマス、諸君滿場一致ノ贊成ヲ下サレマシテ此建議案ヲ通過セシメラレシコトヲ偏ニ希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別ニ御質問ガ無ケレバ直ニ決ヲ採リマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ復祿及復族祿ノ請願、會議ヲ開キマス、是ハ先例モゴザイマスカラ朗讀及起立ニ問フコトハ省略致シマス

意見書案

- 復祿及復族祿ノ件
- 一 兵庫縣出石郡出石町士族稻毛健三郎外二百九十名呈出
 - 二 愛知縣額田郡與殿村士族細井太吉外二十名呈出
 - 三 福岡縣御井郡國分村平民江崎金次郎呈出
 - 四 鳥取縣會見郡境町士族引野千種外四名呈出
 - 五 青森縣三戸郡長者村士族賀九次郎外十二名呈出
 - 六 山形縣南置賜郡窪田村士族色部彌三郎呈出
 - 七 三重縣阿拜郡中瀬村平民中村淺次郎外五百五十六名呈出
 - 八 鳥取縣邑美郡美保村士族安木虎太呈出
 - 九 兵庫縣神戸市山手通士族橫田勝治呈出
 - 十 鳥取縣取鳥市東品治村士族石村古壽外二百十七名呈出
 - 十一 兵庫縣有馬郡三田村平民熊本榮助外八百八名呈出
 - 十二 東京市下谷區竹町平民名和貞太郎外三十七名呈出(一通)
 - 十三 茨城縣水戸市上市士族渡邊鐵次郎呈出
 - 十四 大阪府茨田郡門真村平民大西壽範呈出
 - 十五 同府南郡岸和田町平民森謙治外六十名呈出
 - 十六 京都府天田郡上六人部村平民大槻源右衛門呈出
 - 十七 愛媛縣新居郡氷見村平民渡邊玄之助呈出
 - 十八 靜岡縣周智郡山梨村平民幡鎌隆俊外百三十一名呈出
- 右ノ請願ハ陳述スル所各々多少ノ差異アレトモ要スルニ第一第二ハ曾テ民籍ニ降サレシモ曩ニ士族ニ復籍セラレタルヲ以テ之ニ伴フ所ノ祿ヲ給セラレムコトヲ請願シ第三ハ士族ニ列シ祿ヲ受クヘキ者ナルニ故ナク其ノ族祿ヲ廢除セラレタレハ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第四ハ曩ニ家祿ヲ

奉還セシカ爲メ他ノ同格者ニ比スレハ祿高ニ差異アルヲ以テ之ヲ追給セラレムコトヲ請願シ第五ハ戊辰ノ際天龍ニ觸レ家祿ヲ沒收セラレタルモ他ノ士族ト同シク祿ヲ給セラルヘキ者ナルヲ以テ金祿公債證書ノ下附ヲ請願シ第六ハ維新ノ際家名斷絶セラレシモ後再興復籍セラレタル者ナレハ他ノ國事犯罪者ト同シク其ノ祿ヲ復給セラレムコトヲ請願シ第七ハ郷士ニシテ士籍ニ列セラルヘキ者ナレハ復族ノ處分ヲ請願シ第八ハ異ニ民籍ニ降サレシモ後士族ニ復籍セラレタルヲ以テ之ニ伴フ永世祿ノ下附ヲ請願シ第九ハ曾テ終身祿ヲ受ケシモ後士族ニ編入セラレタルヲ以テ永世祿ニ相當スル不足額ヲ追給セラレムコトヲ請願シ第十ハ故ナク家祿賞典祿ヲ削減セラレタルヲ以テ之ヲ訂正追給セラレムコトヲ請願シ第十一ハ第二ハ士籍ニ編入セラルヘキ者ナルニ故ナク民籍ニ降サレタルヲ以テ其ノ復舊ヲ請願シ第十三ハ維新ノ際朝憲ニ悖リ族祿ヲ沒收セラレタルモ後大赦ニ因リ復族スルヲ以テ之ニ伴フ金祿公債證書ノ下附ヲ請願シ第十四ハ士族ニ列セラルヘキ者ナルニ故ナク民籍ニ降サレタルハ之ヲ復セラレムコトヲ請願シ第十五ハ故ナク其ノ族ヲ廢セラレ又ハ其ノ祿ヲ給セラレムコトヲ以テ復族祿ノ處分ヲ請願シ第十六ハ故ナク民籍ニ降サレタルヲ以テ復族ヲ歎願セリ故ニ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ第十七ハ藩廳ノ錯誤ニ因リ民籍ニ降サレタル者ナレハ士族ニ編入セラレムコトヲ請願シ第十八ハ舊神官ニシテ配當祿ヲ享ケシニ故ナクシテ之ヲ停メラレタル者ナレハ其ノ祿ヲ下賜セラレムコトヲ請願スル者ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ者ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊十九通及送付候也

明治二十九年三月 日

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文殿

○公爵二條基弘君 例ニ依リ説明モ致シマセヌ

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 別段御異議ガ無イト認メマシテ原案ニ決シマス、次ニ筑後川改修工事ノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

筑後川改修工事ノ件

福岡縣御井郡味坂村平民田中新吾外一万二千二名呈出

右ノ請願ハ筑後川ハ全國屈指ノ大河ニシテ其ノ流域四縣ニ涉リ運輸灌漑ノ利大ナリト雖モ一朝降雨ニ際スレハ其ノ汎濫ノ害最モ暴烈ト極メ沿岸人民ハ流離困頓ノ悲境ニ沈淪スルノ慘狀アルヲ以テ明治二十年來改修工事ヲ起シ現今著手中ナリト雖モ其ノ規畫宜シキヲ得サルカ爲モ成効ノ期ヲ見ス是レ畢竟地方ノ經濟ニ委スルヲ以テ姑息ノ修補工事ニ過キサルノ故ナレハ既往ノ慘狀ヲ顧ミ將來ノ利害ヲ慮リ其ノ治水工費ヲ國庫ノ支辨トシテ適當完全ナル改修工事ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年三月 日

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文殿

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ露種検査法實施ノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

露種検査法實施ノ件

栃木縣安蘇郡界村平民永島禮七外百七十四名呈出

右ノ請願ハ露種ニ邦家ノ財源ニシテ國家經濟ニ關スル大ナルハ國家事業ト稱スルモ輕言ニアラス故ニ露種ノ検査又等閑ニ付スヘカラサルナリ然ルニ現今各縣實行ニテ検査方法ハ一般ニ及ハス其ノ方法區々ニ涉リ重複ノ検査ヲ受タルニ非サレハ之ヲ他縣ニ販賣スル能ハス斯ノ如クハ斯業ノ發達ヲ沮害シ當業者ノ不利不便毒業上一大影響ヲ及ス蓋シ露種カヲサレハ露種検査法案ヲ實施シ検査期及病毒ノ歩合ヲ一定シ未検査露種ハ之ヲ讓渡飼育販賣ヲ禁セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年三月 日

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ御異議ガナイニ依リテ原案ニ決シマス、次ニ假屋灣ヲ貿易港ト爲スノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

假屋灣ヲ貿易港ト爲スノ件

佐賀縣東松浦郡入野村平民宮口德藏外千四百十五名呈出

右ノ請願ハ對外貿易ノ隆盛ヲ期スルニハ海陸ノ連絡其ノ宜キヲ得ルニアリ佐賀縣假屋灣ハ九州西北岸唯一ノ良港ニシテ灣内東西ニ海里南北ニ海里岸邊水深ク巨船ヲ繫クニ足ル而シテ内陸路ニハ九州鐵道ノ分岐及唐津ヨリノ便アリ外海運ハ露領浦潮港朝鮮釜山支那南北岸南洋諸島及臺灣島ニ對スル唯一ノ港灣ニシテ九州地方其右ニ出ルモノナシ而シテ九州産出ノ石炭ハ機械ノ事業ノ發達ニ供給輸出ノ途ヲ開キ製造原料ノ輸入ハ内地工産ノ進捗ヲ媒介シ對外貿易ノ隆盛ヲ來シ以テ將來殖産興業ノ隆盛ヲ期スルハ蓋シ九州門戸ノ假屋灣ヲ開キ貨物集散ノ要港トナスニアリ則チ港灣ノ善良ナル地勢ノ適當ナルヨリ假屋灣ヲ開キ貿易港ト開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年三月 日

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣 侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レ亦原案ニ決シマス、次ニ電信線架設ノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

宮城縣互理郡互理町町長武田萬治郎外五名呈出
右ノ請願ハ宮城縣互理町ハ荒濱港ヲ以テ海濱ニ接シ陸ハ國道ノ衝ニ當リ沿
海各地ノ海産及蠶絲業ヲ始メ海陸ノ商業擴張シ諸官衙公私ノ通信頻年其ノ
敷ヲ増シ電信ニ據テ辨スル緊急ノ要件日ニ其ノ多キヲ加フ他電信局ニ頼ラ
ントセハ三里乃至七里ヲ距テ不便甚シク阿武隈川洪水ニ際セハ郵便尙ホ其
ノ用ヲナサス通信ノ機關中斷スルアリ故ニ機敏瞬時ヲ爭フ商業上ヨリ事々
遲緩ニ失シ地方ノ盛衰消長ニ關スル洵ニ至大ナレハ速ニ電信局ヲ設置セラ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年三月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ明治七年以後戰死者
遺族弔祭料下賜ノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ件
德島縣海部郡阿部村平民喜多條市郎外十名呈出
右ノ請願ハ明治七年以後戰役死歿者ノ遺族ニシテ現存スルモノハ明治二十
四年法律第四號ノ恩典ニ浴スルヲ得ルト雖モ此法律發布前ニ於テ既ニ死歿
シタル遺族ヲ慰スルコト能ハススル遺族ハ生前愛兒ヲシテ砲彈雨ノ中ニ
戰歿セシメ流離艱難ノ間ニ老餘ノ殘月ヲ送り漸ク國家ニ於テ遺族恩遇ノ法
備ルノ日ハ既ニ一片ノ魂魄空シク黄土ノ人トナリ其ノ恩典ニ浴スルヲ得ス
而シテ是レ均シク君國ノ爲メニ命ヲ致シタルニ於テハ其ノ問毫末ノ差ナシ
世ノ變遷ニ依ルトハ云ヘ其ノ待遇ノ前後霄壤霄ナラサルハ人世ノ恨事追憶
ノ限ナルニ依リ明治二十四年法律第四號發布前死去シタル遺族ニ弔祭料ヲ
下賜セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議
決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年三月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ停車場設置ノ請願、會
議ヲ開キマス

意見書案

停車場設置ノ件
神奈川縣海部郡吾妻村平民水島傳次郎外八十六名呈出
右ノ請願ハ神奈川縣大住郡野野町ト平塚停車場トノ間ハ其ノ距離三里半ニ
シテ殆ト一日一回ノ往復ヲ爲シ得ルニ過キス故ニ此ノ地ノ特産タル煙草又

ハ之レニ要スル肥料等ノ東京横濱等へ輸出入スルニ當リテモ大ニ運輸ノ快
速ヲ缺キ不便渺ナカラス然ルニ二宮ニ停車場ヲ設置スル時ハ其ノ距離僅カ
ニ二里ナルヲ以テ一日二回ノ往復ヲ爲シ得ヘシ故ニ之レヲ從來ニ比セハ
其ノ貨物輸出入ノ增加期シテ知ルヘキナリ因テ二宮ニ停車場ヲ設置シ以テ
益々交通機關ノ發達ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年三月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ原案ニ決シマス、次ニ遠賀川河身改修ノ請
願、會議ヲ開キマス

意見書案

遠賀川河身改修ノ件
福岡縣遠賀郡岡縣村平民門司彌八郎外二万八百五名呈出
右ノ請願ハ遠賀川ハ大小幾多ノ河流ヲ湊合シ筑豐五郡ヲ貫流スル大河ニシ
テ其ノ幹支流ノ通スル地方ハ煤田ニ富ミ礦業最モ盛ナリ其ノ石炭ノ遠賀川
水運ヲ籍リ運搬スル三十八億七千四百二十九萬餘斤其ノ他米穀產物ヲ加フ
レハ平均三百五十萬圓以上ノ額ニ達ス如之ナラス灌漑耕地ハ五千五百餘町
歩ニシテ該地方民ノ休戚ニ關スル至要ノ河川ナリ然ルニ近時河流涸渇シ舟
楫ノ便ヲ缺キ降雨之際セハ河水暴溢田圃ヲ荒蕪シ礦山ヲ浸害シ家屋人畜ニ
被ル害ハ夥シク流離悲慘沿川五郡人民ハ危懼ノ念ヲ絶ツ能ハス從來該川ノ
工事ハ沿川各郡ノ自營ナルカ故彼我ノ利害交々衝突シ爲ニ完全ナル工事ヲ
起ス能ハス其ノ工費モ少額ニ非ス二十七年ノ町村費支出ハ實ニ九萬圓以上
ニ上ル且ツ各郡ニ於ル工事ハ區々ニシテ完キヲ得ス地方稅負擔ニ移リシヨ
リ多少革新工事ノ端ニ就シト雖モ積年ノ頽廢ヲ回復スルハ容易ナラザレハ
大ニ河心改修ヲ施スニ非レハ其ノ成效ヲ望ミ難キヲ以テ國庫ノ支出ヲ仰キ
改修工事ヲ施行シ沿川人民ノ危急ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別
冊及送付候也
明治二十九年三月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシ〕ト呼フ者數名アリ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是モ御異議ナシニ依テ原案ニ決シマス、次ニ
朝鮮貿易港開設ノ請願、會議ヲ開キマス

意見書案

朝鮮貿易港開設ノ件
鳥取縣會見郡境町平民西村忠義外四十二名呈出
右ノ請願ハ鳥取縣境港ハ隣邦朝鮮トハ一葦帶水ヲ以テ唇齒輔車ノ關係ヲ有
スルモ山陰全道東西百里ノ間直接ニ彼我ノ需要供給ヲ便スルノ港ナキハ遺

傳トスル所ニシテ彼ノ舞鶴濱田加賀七類ノ諸港ノ如キハ境港ニ比セハ俱ニ不完全ヲ免レズ而シテ境港ニ通スル鐵道ハ既ニ第一期工事中ニ在リ早晚馬關迂回ノ弊ヲ除キ航路ト鐵道トノ氣脈全キヲ得海陸連運貨物集散ノ便ヲ見ルニ至リ從來停滯シタル商業ハ益々活氣ヲ見ハシ朝鮮輸入ノ物品中境港ヨリ他ノ貿易港ヲ經テ輸入セラル、額尠少ニアラサルコトハ朝鮮領事官ノ通告ニ依ルモ明カナリ然ルニ輸出ニ馬關迂回ノ煩アル爲メ從來ノ密輸出入アルハ免ルヘカラス故ニ境港ヲ朝鮮貿易港トスルハ徒ニ海外貿易ノ利益ヲ擴張スルノミナラス併セテ密輸出ノ違犯ヲ救済スルニ於テモ亦必要ニ逼ラル、モノ益々切テハ本港ヲ開キ朝鮮貿易港ト定メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年三月 日

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶

內閣總理大臣 侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシト呼フ者數名アリ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是レ亦御異議ナキヲ以テ原案ニ決シマス、衆議院ヨリ政府提出、臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案、地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲メ起債及地租制限外賦課ノ件法律案、是ダケヲ受領致シマシテゴザイマス、內閣總理大臣臨時代理ヨリ通牒、ガゴザイマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

〔中根書記官長朗讀〕

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

右法律案ハ緊急ノ事件ニ付議院法第二十七條但書及第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要球候也

明治二十九年三月二十六日

內閣總理大臣臨時代理

樞密院議長 伯爵黑田清隆

貴族院議長 侯爵蜂須賀茂韶殿

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 社寺上地林保管法案特別委員會ニ於キマシテ委員長ニ子爵曾我祐準君、副委員長ニ富田鐵之助君當選ニナリマシテゴザイマス、清國朝鮮國在留帝國臣民取締法案特別委員ヲ先刻御委託ニナリマシタニ依ッテ選定ニ及ヒマシタ、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

〔中根書記官長朗讀〕

清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法案特別委員

公爵近衛 篤磨君 伯爵冷泉 爲紀君 伯爵立花 寬治君
 子爵平松 時厚君 子爵板倉 勝達君 子爵鳥居 忠文君
 岩村 定高君 菊池 大麓君 山脇 玄君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ヒマス書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

〔中根書記官長朗讀〕

午前十時開議

第一 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

- 第二 地方稅經濟ニ於テ臨時土木費ノ爲メ起債及地租制限外賦課ノ件法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
 - 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉(政府提出衆議院送付)
 - 第四 明治二十七年豫備金支出承諾ヲ求ムルノ件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員長報告)
 - 第五 明治二十七年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過及豫算外支出承諾ヲ求ムルノ件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員長報告)
 - 第六 明治二十七年各特別會計東京大阪兩砲兵工廠豫備費支出承諾ヲ求ムルノ件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員長報告)
 - 第七 明治二十七年各特別會計豫算超過及豫算外支出承諾ヲ求ムルノ件(政府提出衆議院送付) 會議(特別委員長報告)
 - 第八 明治二十六年度歲入歲出總決算及明治二十六年度各特別會計歲入歲出決算特別委員長報告 會議(前會ノ續)
 - 第九 郡制改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
 - 第十 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員長報告)
 - 第十一 家祿賞典祿處分法案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十三 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十五 裁判所管轄ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉(衆議院提出) 第一讀會
- 議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日ハ散會
 午後四時五十四分散會